

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構
平成28年度に係る業務の実績に関する評価結果

平成29年8月

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構評価委員会

目

次

1	評価対象法人の概要	1
2	評価の実施根拠法	1
3	評価の対象	1
4	評価の趣旨及び評価者	2
5	評価方法の概要	2
	（1）評価基準	2
	（2）評価の手法	2
6	評価結果	3
	（1）総合的な評定	3
	（2）年度計画の各項目ごとの評定	4
	1. 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する 目標を達成するためとるべき措置	4
	2. 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	5
	3. 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画	6
	4. 短期借入金の限度額	6
	5. 剰余金の使途	7
	6. 料金に関する事項	7
	7. その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項	7
	（3）地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構に対する勧告等	8
	地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構平成28年度業務実績に関する評価基準	9
	参考資料 平成28年度実績に関する評価（項目別評価シート）	10

1 評価対象法人の概要

- (1) 法人名等
- | | |
|-----|---------------------|
| 名 称 | 地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 |
| 代 表 | 理事長 栗谷 義 樹 |
| 住 所 | 山形県酒田市あきほ町30番地 |
- (2) 設立年月日 平成20年4月1日
- (3) 設立団体 山形県及び酒田市
- (4) 資本金の額 14,691,983,678円(平成28年9月7日変更登記時)
- (5) 中期目標の期間 平成28年度から平成31年度(4年間)
- (6) 目的及び業務

ア 目 的

地方独立行政法人法に基づき、医療の提供、医療に関する調査及び研究等を行うことにより、庄内地域等の医療政策として求められる高度専門医療を提供し、及び当該地域における医療水準の向上を図り、もって住民の健康の維持及び増進に寄与することを目的とする。

イ 業 務

- ① 医療の提供に関すること。
- ② 医療に関する調査及び研究に関すること。
- ③ 医療に関する技術者の研修に関すること。
- ④ 医療に関する地域への支援に関すること。
- ⑤ 災害時における医療救護に関すること。
- ⑥ 前各号に掲げる業務に附帯する業務に関すること。

2 評価の実施根拠法

地方独立行政法人法(平成15年法律第118号)第28条

3 評価の対象

平成28年度における地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構の年度計画に対する実績の状況

※年度計画・・・中期計画に基づき、当該年度における業務運営に関する計画を定めたもの

4 評価の趣旨及び評価者

(1) 評価の趣旨

地方独立行政法人法の規定に基づき、地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構（以下「病院機構」という。）が、庄内地域における中核病院である日本海総合病院及び日本海総合病院酒田医療センターの運営を行うにあたり、住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上、業務運営の効率化等について自主的、継続的な見直し及び改善を促すことを目的に、地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構評価委員会（以下「評価委員会」という。）が業務の実績評価を行う。

(2) 評価委員会

委員名	氏名	役職等
委員長	嘉山 孝正	山形大学医学部参与 山形大学医学部先進がん医学講座 特任教授
副委員長	大内 憲明	東北大学名誉教授・医学部客員教授 登米市病院事業管理者
委員	堀 千秋	酒田市地域包括支援センターほくぶセンター長
委員	佐藤 正一 (当日欠席)	日本公認会計士協会山形県会
委員	齋藤 好正	山形県医師会（酒田地区医師会十全堂顧問）
委員	吉川 哲央	酒田商工会議所副会頭 (東北東ソー化学株式会社 代表取締役社長)

(敬称略：順不同)

5 評価方法の概要

(1) 評価基準

病院機構平成28年度業務実績に関する評価基準。(別紙のとおり)

(2) 評価の手法

病院機構の自己評価結果を含めて聴取し、これを基に評価する。

6 評価結果

(1) 総合的な評定

評価委員会は、病院機構から提出された、平成28年度計画に係る事業報告書及び評価基準により自己評定した結果について、適正な評価であると認め、総合的には「非常に優れている」ものとして評価する。

平成28年度は、病院機構設立後9年度目、第3期中期目標期間の初年度にあたる。

日本海総合病院については、救命救急センターや地域医療支援病院などの指定を受ける地域の中核病院として、専門医の配置と、全身用X線CT診断装置、内視鏡外科手術システムなどの高度医療機器の更新・整備により、救急医療、がん医療等の機能を十分に発揮し安全で高度かつ専門的な急性期医療が提供されている。酒田医療センターについては、理学療法士・作業療法士の増員により、休日を含めたりハビリテーション提供体制が充実され、地域ニーズに応じた回復期・慢性期医療の提供がなされている。

病院機構が統合再編・法人化により進めてきた、日本海総合病院における急性期、高度専門医療と、酒田医療センターにおける回復期・慢性期といった機能分担が一層進められている。また、ITネットワークの活用などにより地域の医療機関を始め保健・福祉・介護の各機関との連携が強化されたことにより、優秀な医療実績と効果的な業務運営が行われている。

職員配置、就労環境の整備については、医療クラークや看護補助者等の配置増、認定看護師等の適所配置、院内保育所の24時間保育、病児・病後児保育の継続、病棟看護師の負担軽減を目的とする二交代制勤務の一部導入など、優れたスタッフの確保と業務負担軽減に積極的に取り組んでいる。特に、医療人材の確保・育成について、臨床研修医、レジデント、スチューデントドクター及び地域医療実習生を受け入れ、医師育成及び医学生の教育に努めている。

財務内容については、日本海総合病院では、過去最高益となった昨年度に比べ、入院収益が患者数の減等により減少し、また、外来収益でも医療圏人口の減少のほか、選定療養費の影響等により患者数が減少したことや、患者1人1日当たりの診療単価が減ったため減少したものの6億67百万円の黒字を確保している。一方、酒田医療センターでは、理学療法士等の職員増により受け入れ体制を整えたことから延入院患者数の増加と休日リハビリテーション提供加算などにより営業収益が改善されている。病院機構全体としては、設立初年度から9年間連続して黒字決算を計上し、中期計画の目標である経常収支比率100%以上が引き続き達成され、効率的な運営が行われている。

以上、平成28年度計画における業務の実績は、引き続き良好であり、病院機構の業務運営に対する努力について、評価委員会としては非常に高く評価するものである。

評価した項目数

総項目数

94項目 【評価 S：9、A：35、B：50】

(2) 年度計画の各項目ごとの評定

1. 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

ア 評定

年度計画に対する実績は計画を上回っている。

イ 理由

日本海総合病院と酒田医療センター、2病院の医療機能の分担により、将来にわたり持続可能な経営に向けて、効率的で効果的な業務運営が行われている。業務実績についても極めて良好であり、庄内地域の中核病院として地域医療水準の向上が図られている。

ウ 評価した項目

① 項目数

69項目 【評価 S：7、A：25、B：37】

② 特筆すべき項目

- ・ 救命救急センターの機能強化のため、救急搬送では地域の医療機関との役割分担も進み、また、酒田地区医師会と協力連携しながら平日夜間救急外来の診療体制が確保している。
- ・ 酒田医療センターでは、理学療法士等を増員し、休日を含めたリハビリテーション提供体制の充実に努めている。
- ・ 日本海総合病院では、退院後、患者が在宅医療へ円滑に移行できるように退院支援職員を配置し、退院調整を行っている。
- ・ 新しい専門医制度の開始に伴い、内科領域の専門研修プログラムを策定し申請を行っている。
- ・ 紹介率・逆紹介率が非常に高く、地域医療支援病院として、他の地域医療機関との役割分担及び連携強化が図られ、

急性期医療を担う中核病院の役割を果たしている。

- ・ 庄内二次医療圏全体で、効率的で適切な医療やケアを提供するため、地域医療情報ネットワーク等の ICT を活用し、他の医療機関や介護・福祉施設等との診療情報の共有化を進めている。
- ・ 住民に信頼される良質な医療を提供するため、病院機能評価を受審し、平成 29 年 2 月に、主たる機能：一般病院 2 機能種別版評価項目 3rdG : Ver. 1.1 に認定された。

2. 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

ア 評 定

年度計画に対する実績は計画を上回っている。

イ 理 由

診療体制の強化、人員配置の弾力的運用が図られている。診療報酬改定等を始め各種制度の変化に迅速に対応し収益確保のため設定した各目標値を達成している。また、引き続き費用の抑制に努めている。

ウ 評価した項目

① 項目数

8項目 【評価 A : 6、B : 2】

② 特筆すべき項目

- ・ 理学療法士等の増員による診療体制の強化や、臨床工学技士の宿日直勤務の導入など人員配置の弾力的運用を行っている。
- ・ 収益確保のため設定している、1日当たりの患者数、病床利用率、診療単価の各目標値については、日本海総合病院では、1日当たりの入院患者数が目標値を僅かに下回ったが、他の目標値についてはすべて達成している。酒田医療センターでは、病床利用率が目標値を僅かに下回ったが、他の目標値はすべて達成している。
- ・ 新たに総合入院体制加算 2 及び認知症ケア加算 1 の施設基準の届け出を行い、増収を図っている。

3. 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画及び資金計画

ア 評 定

年度計画に対する実績は計画を上回っている。

イ 理 由

日本海総合病院、酒田医療センター共に、営業収支比率、経常収支比率の目標を達成し、法人全体で総収益 200 億 3 百万円に対し総費用 194 億 17 百万円で、過去最高益であった昨年度より減少はしたものの、当期純利益 5 億 87 百万円を確保している。病院機構設立以来 9 期連続して純利益を計上しており、財務内容についても極めて良好である。

ウ 評価した項目

① 項目数

1 項目 【評価 A : 1】

② 特筆すべき項目

- ・ 単年度収支において黒字を計上、営業利益でも引き続き黒字を計上している。
- ・ 経常収支比率 103.1% を達成している。

4. 短期借入金の限度額

ア 評 定

年度計画に対する実績は計画を上回っている。

イ 理 由

短期借入金なしで経営していることは高く評価できる。

ウ 評価した項目

① 項目数

1 項目 【評価 S : 1】

② 特筆すべき項目

- ・ 短期借入金なし。

5. 剰余金の使途

ア 評 定

年度計画に対する実績は計画を上回っている。

イ 理 由

設立以来、9期連続で純利益を上げ、その積立金を施設整備や医療機器購入等に充てていることは高く評価できる。

ウ 評価した項目

① 項目数

1項目 【評価 S : 1】

② 特筆すべき項目

- ・ 決算において剰余が生じた場合は、病院施設の整備に充てるため建設改良積立金に充当している。

6. 料金に関する事項

ア 評 定

年度計画に対する実績は概ね計画に合致している。

イ 理 由

病院機構の規定に基づいた料金徴収が行われている。

ウ 評価した項目

① 項目数

2項目 【評価 B : 2】

② 特筆すべき項目

- ・ 病院機構の規定に基づき適切に使用料を徴収している。

7. その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項

ア 評 定

年度計画に対する実績は概ね計画に合致している。

イ 理由

職員の能力や経験を適切に評価し、モチベーションの向上を図るとともに、職員一人ひとりがそれぞれの分野で専門知識や能力を十分に発揮できるよう多職種によるチーム医療を推進している。

ウ 評価した項目

① 項目数

12項目 【評価 A：3、B：9】

② 特筆すべき項目

- ・ 認定看護師等の手当支給や、学会参加費助成の充実を図り、専門知識の習得と技能向上が図られ、より質の高い医療、看護が提供されている。
- ・ 医師、看護師、薬剤師、リハビリ技師等による認知症ケアチームを新たに発足し、チームによる回診やカンファレンス等の活動を行っている。

(3) 地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構に対する勧告等

なし

【別紙】

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構平成28年度業務実績に関する評価基準

1 平成28年度業務の実績に関する評価の基本方針

平成28年度地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構年度計画について、その実施状況を調査・分析し、業務の実績について評価を行なう。

2 業務の実績に関する評価の方法

計画に掲げた項目ごとに行なう「項目別評価」と、業務実績全体の状況について行なう「全体評価」の2つを併せて行なうものとする。

(1) 項目別評価 項目別評価シート

項目別評価は、年度計画の個別項目毎の進捗状況について、下記により評価するものとする。

① 業務の実施状況を幅広く把握し、可能な限り客観的な評価の実施に努める。

- ・目標数値がある場合はその達成度合い、定性的な目標の場合は具体的な業務実績を把握して評価する
- ・業務実績については、その数量だけでなく、その質についても考慮する
- ・業務実績に影響を及ぼした要因、予期せぬ事情の変化等についても考慮する

② 判定基準として以下の5段階で評価し、原則としてその理由を付記する

(判定基準)

「S」 : 計画を大幅に上回っている

「A」 : 計画を上回っている

「B」 : 計画に概ね合致している

「C」 : 計画をやや下回っている

「D」 : 計画を下回っており、大幅な改善が必要

(2) 全体評価

全体評価は、(1)の項目別評価の結果を踏まえ、全体的な計画の進行状況や達成について、記述式等により評価するものとする。

平成 28 年度実績に関する評価

(項目別評価シート)

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 項目別評価シート

平成28年度・年度計画		平成28年度・年度実績		評価の視点		自己評定		H27 判定	委員会評価及び意見等																		
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置								判定																			
1 病床機能の分化・連携																											
(1)日本海総合病院の機能																											
<p>「高度急性期」医療機能を有し、急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向け、次表のような診療密度が特に高い医療を提供する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>許可病床数</td> <td>一般病床 642床 (うち、救命救急センター 24床) 感染症病床 4床 合計 646床</td> </tr> <tr> <td>標榜科 (27診療科)</td> <td>内科、循環器内科、消化器内科、内臓腫瘍科、精神科、神経内科、小児科、緩和ケア内科、外科、乳腺外科、小児外科、整形外科、形成外科、リハビリテーション科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、造形口腔外科、麻酔科、救急科、病理診断科</td> </tr> <tr> <td>診療機能等</td> <td>救命救急センター (ICU、HCU) F E Tセンター 外来化学療法室 L D R室 (疼痛・分娩・回復室) 手術室 救命救急センター 特殊診察室及び感染症室 (感染症・感染症室) 人工透析室 ハイブリッド手術室 地域医療連携病院 地域がん診療連携拠点病院 災害拠点病院 へき地医療拠点病院 臨床研修病院 など</td> </tr> </tbody> </table>		項目	数	許可病床数	一般病床 642床 (うち、救命救急センター 24床) 感染症病床 4床 合計 646床	標榜科 (27診療科)	内科、循環器内科、消化器内科、内臓腫瘍科、精神科、神経内科、小児科、緩和ケア内科、外科、乳腺外科、小児外科、整形外科、形成外科、リハビリテーション科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、造形口腔外科、麻酔科、救急科、病理診断科	診療機能等	救命救急センター (ICU、HCU) F E Tセンター 外来化学療法室 L D R室 (疼痛・分娩・回復室) 手術室 救命救急センター 特殊診察室及び感染症室 (感染症・感染症室) 人工透析室 ハイブリッド手術室 地域医療連携病院 地域がん診療連携拠点病院 災害拠点病院 へき地医療拠点病院 臨床研修病院 など	<p>標榜科名変更:耳鼻咽喉科→耳鼻咽喉科・頭頸部外科</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>許可病床数</td> <td>一般病床 542床 (うち、救命救急センター 24床) 感染症病床 4床 合計 646床</td> </tr> <tr> <td>標榜科 (27診療科)</td> <td>内科、循環器内科、消化器内科、内臓腫瘍科、精神科、神経内科、小児科、緩和ケア内科、外科、乳腺外科、小児外科、整形外科、形成外科、リハビリテーション科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、造形口腔外科、麻酔科、救急科、病理診断科</td> </tr> <tr> <td>診療機能等</td> <td>救命救急センター (ICU、HCU) F E Tセンター 外来化学療法室 L D R室 (疼痛・分娩・回復室) 手術室 救命救急センター 特殊診察室及び感染症室 (感染症・感染症室) 人工透析室 ハイブリッド手術室 地域医療連携病院 地域がん診療連携拠点病院 災害拠点病院 へき地医療拠点病院 臨床研修病院 など</td> </tr> </tbody> </table>		項目	数	許可病床数	一般病床 542床 (うち、救命救急センター 24床) 感染症病床 4床 合計 646床	標榜科 (27診療科)	内科、循環器内科、消化器内科、内臓腫瘍科、精神科、神経内科、小児科、緩和ケア内科、外科、乳腺外科、小児外科、整形外科、形成外科、リハビリテーション科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、造形口腔外科、麻酔科、救急科、病理診断科	診療機能等	救命救急センター (ICU、HCU) F E Tセンター 外来化学療法室 L D R室 (疼痛・分娩・回復室) 手術室 救命救急センター 特殊診察室及び感染症室 (感染症・感染症室) 人工透析室 ハイブリッド手術室 地域医療連携病院 地域がん診療連携拠点病院 災害拠点病院 へき地医療拠点病院 臨床研修病院 など	<p>△急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向け、診療密度が特に高い医療を提供したか。</p>		A	<p>▽日本海総合病院の延べ入院患者数は188,230人で1日当たりの入院患者数は515.7人。延べ外来患者数は335,448人で1日当たりの外来患者数は1,380.4人であった。また、平均在院日数は11.7日であった。ハイブリッド手術室を使用した経カテーテル大動脈弁置換術(TAVI)など年間6,000件余りの手術を実施し診療密度が高い医療を提供した。</p>		S	A	自己評定のとおり
項目	数																										
許可病床数	一般病床 642床 (うち、救命救急センター 24床) 感染症病床 4床 合計 646床																										
標榜科 (27診療科)	内科、循環器内科、消化器内科、内臓腫瘍科、精神科、神経内科、小児科、緩和ケア内科、外科、乳腺外科、小児外科、整形外科、形成外科、リハビリテーション科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、造形口腔外科、麻酔科、救急科、病理診断科																										
診療機能等	救命救急センター (ICU、HCU) F E Tセンター 外来化学療法室 L D R室 (疼痛・分娩・回復室) 手術室 救命救急センター 特殊診察室及び感染症室 (感染症・感染症室) 人工透析室 ハイブリッド手術室 地域医療連携病院 地域がん診療連携拠点病院 災害拠点病院 へき地医療拠点病院 臨床研修病院 など																										
項目	数																										
許可病床数	一般病床 542床 (うち、救命救急センター 24床) 感染症病床 4床 合計 646床																										
標榜科 (27診療科)	内科、循環器内科、消化器内科、内臓腫瘍科、精神科、神経内科、小児科、緩和ケア内科、外科、乳腺外科、小児外科、整形外科、形成外科、リハビリテーション科、脳神経外科、心臓血管外科、呼吸器外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、造形口腔外科、麻酔科、救急科、病理診断科																										
診療機能等	救命救急センター (ICU、HCU) F E Tセンター 外来化学療法室 L D R室 (疼痛・分娩・回復室) 手術室 救命救急センター 特殊診察室及び感染症室 (感染症・感染症室) 人工透析室 ハイブリッド手術室 地域医療連携病院 地域がん診療連携拠点病院 災害拠点病院 へき地医療拠点病院 臨床研修病院 など																										
(2)酒田医療センターの機能																											
<p>急性期を経過した患者について、次のような医療を提供する。</p> <p>①「回復期」医療機能を有し、在宅復帰に向けた医療及びADL(日常生活動作)の向上を目的としたリハビリテーションを提供する。</p> <p>②「慢性期」医療機能を有し、長期にわたり療養を必要とする患者及び重度障がい者等を受け入れる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>許可病床数</td> <td>医療療養型療養病床 35床 回復期リハビリテーション病床 79床 合計 114床</td> </tr> <tr> <td>標榜科 (2診療科)</td> <td>内科、リハビリテーション科</td> </tr> <tr> <td>診療機能等</td> <td>回復期リハビリテーション 過所リハビリテーション 在宅重症難病患者一時入院機能 機能訓練室 デイケア室 臨床研修病院 など</td> </tr> </tbody> </table>		項目	数	許可病床数	医療療養型療養病床 35床 回復期リハビリテーション病床 79床 合計 114床	標榜科 (2診療科)	内科、リハビリテーション科	診療機能等	回復期リハビリテーション 過所リハビリテーション 在宅重症難病患者一時入院機能 機能訓練室 デイケア室 臨床研修病院 など	<p>急性期を経過した患者について、次のような医療を提供した。</p> <p>①「回復期」医療機能を有し、在宅復帰に向けた医療及びADL(日常生活動作)の向上を目的としたリハビリテーションを提供した。</p> <p>②「慢性期」医療機能を有し、長期にわたり療養を必要とする患者及び重度障がい者等の受け入れを行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>許可病床数</td> <td>医療療養型療養病床 35床 回復期リハビリテーション病床 79床 合計 114床</td> </tr> <tr> <td>標榜科 (2診療科)</td> <td>内科、リハビリテーション科</td> </tr> <tr> <td>診療機能等</td> <td>回復期リハビリテーション 過所リハビリテーション 在宅重症難病患者一時入院機能 機能訓練室 デイケア室 臨床研修病院 など</td> </tr> </tbody> </table>		項目	数	許可病床数	医療療養型療養病床 35床 回復期リハビリテーション病床 79床 合計 114床	標榜科 (2診療科)	内科、リハビリテーション科	診療機能等	回復期リハビリテーション 過所リハビリテーション 在宅重症難病患者一時入院機能 機能訓練室 デイケア室 臨床研修病院 など	<p>△急性期を経過した患者について、「回復期」「慢性期」の医療を提供したか。</p>		A	<p>▽酒田医療センターは、理学療法士等の職員を増員しリハビリテーションの受入体制を充実させたことにより、リハビリテーション科の延べ入院患者数は26,688人、前年度比108.5%となった。また、慢性期医療の提供としては、他の医療機関からの長期療養患者を受け入れを行った他、延べ11人の重度障がい患者の受け入れも行った。</p>		A	A	自己評定のとおり
項目	数																										
許可病床数	医療療養型療養病床 35床 回復期リハビリテーション病床 79床 合計 114床																										
標榜科 (2診療科)	内科、リハビリテーション科																										
診療機能等	回復期リハビリテーション 過所リハビリテーション 在宅重症難病患者一時入院機能 機能訓練室 デイケア室 臨床研修病院 など																										
項目	数																										
許可病床数	医療療養型療養病床 35床 回復期リハビリテーション病床 79床 合計 114床																										
標榜科 (2診療科)	内科、リハビリテーション科																										
診療機能等	回復期リハビリテーション 過所リハビリテーション 在宅重症難病患者一時入院機能 機能訓練室 デイケア室 臨床研修病院 など																										

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 項目別評価シート

平成28年度・年度計画	平成28年度・年度実績	評価の視点	判定	自己評定	H27判定	判定	委員会評価及び意見等																																				
2 高度専門医療・回復期医療の提供及び医療水準の向上																																											
(1)高度専門医療・回復期医療等の充実・強化																																											
ア 診療体制の充実																																											
(ア)救急医療(日本海総合病院)																																											
① 庄内二次医療圏で唯一の救命救急センターとして、24時間365日、地域に信頼される医療の提供に努める。 関連指標（救命救急センター延べ患者数） <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>23,979名</td> <td>24,653名</td> <td>24,012名</td> </tr> </tbody> </table>		平成24年度	平成25年度	平成26年度		23,979名	24,653名	24,012名	① 庄内二次医療圏で唯一の救命救急センターとして、24時間365日、地域に信頼される医療の提供に努めた。 【実績】救命救急センター延べ患者数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>24,858名</td> <td>24,012名</td> <td>25,099名</td> <td>23,619名</td> </tr> </tbody> </table>		H25	H26	H27	H28		24,858名	24,012名	25,099名	23,619名	◇庄内二次医療圏で唯一の救命救急センターとして、24時間365日、地域に信頼される医療を提供したか。	A	▽救命救急センターは医師15名体制で救急医療の提供に当たった。また、救急科専門医を新たに1名育成し3名体制として診療体制の充実を図った。	A	A	自己評定のとおりに																		
	平成24年度	平成25年度	平成26年度																																								
	23,979名	24,653名	24,012名																																								
	H25	H26	H27	H28																																							
	24,858名	24,012名	25,099名	23,619名																																							
② 酒田地区広域行政組合消防本部及び鶴岡市消防本部との連携を強化し、救急医療の充実に努める。	② 酒田地区広域行政組合及び鶴岡市消防本部との連携を強化し、救急医療の充実に努めるため、救急医療講演会を開催した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日時</th> <th>研修内容</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29.3.22 日本海総合病院 講堂</td> <td>【大津波 津波 そして生還 ～被災者が思う防災への備え～】 講師：株式会社朝日海洋開発 代表取締役社長 安藤 淳 氏</td> <td>152人</td> </tr> </tbody> </table>	実施日時	研修内容	参加人数	H29.3.22 日本海総合病院 講堂	【大津波 津波 そして生還 ～被災者が思う防災への備え～】 講師：株式会社朝日海洋開発 代表取締役社長 安藤 淳 氏	152人	◇酒田地区及び鶴岡地区消防本部と連携し救急医療の充実に努めたか。	A	▽酒田地区広域行政組合及び鶴岡市消防本部と合同で救急医療講演会を開催し、多くの関係職員から参加いただき救急医療の充実に努めた。 ▽参加人数、昨年度比30名増。	A	A	自己評定のとおりに																														
実施日時	研修内容	参加人数																																									
H29.3.22 日本海総合病院 講堂	【大津波 津波 そして生還 ～被災者が思う防災への備え～】 講師：株式会社朝日海洋開発 代表取締役社長 安藤 淳 氏	152人																																									
③ 救命救急センターの機能強化のため、一般社団法人酒田地区医師会十全堂と連携し、平日夜間救急診療体制を維持する。 関連指標（酒田地区医師会診療支援による延べ患者数） <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児科</td> <td>743名</td> <td>526名</td> <td>591名</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1,715名</td> <td>1,592名</td> <td>1,280名</td> </tr> </tbody> </table>		平成24年度	平成25年度	平成26年度	小児科	743名	526名	591名	その他	1,715名	1,592名	1,280名	③ 救命救急センターの機能強化のため、一般社団法人酒田地区医師会十全堂と連携し、平日夜間救急外来を継続して行った。 【実績】酒田地区医師会診療支援による延べ患者数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児科</td> <td>639名</td> <td>581名</td> <td>624名</td> <td>565名</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1,582名</td> <td>1,280名</td> <td>1,250名</td> <td>1,081名</td> </tr> </tbody> </table>		H25	H26	H27	H28	小児科	639名	581名	624名	565名	その他	1,582名	1,280名	1,250名	1,081名	◇酒田地区医師会と連携し、平日夜間救急医療の体制を維持したか。	B	▽救命救急センターの機能強化のため、原則、重篤・緊急性が高い患者以外は、主に慢性期等を担う地域の医療機関に搬送してもらう等、役割分担を適切に行い、一般社団法人酒田地区医師会十全堂と連携しながら、平日夜間救急外来を継続して実施した。	S	A	地域の医療機関や医師会との連携も進んでおり大いに評価する。									
	平成24年度	平成25年度	平成26年度																																								
小児科	743名	526名	591名																																								
その他	1,715名	1,592名	1,280名																																								
	H25	H26	H27	H28																																							
小児科	639名	581名	624名	565名																																							
その他	1,582名	1,280名	1,250名	1,081名																																							
(イ)がん医療(日本海総合病院)																																											
① 地域がん診療連携拠点病院として、手術、放射線治療及び化学療法を効果的に組み合わせた集学的治療を提供する。 関連指標（手術、放射線療法、外来化学療法の件数） <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手術</td> <td>1,123件</td> <td>1,117件</td> <td>1,068件</td> </tr> <tr> <td>放射線療法</td> <td>7,793件</td> <td>7,928件</td> <td>6,726件</td> </tr> <tr> <td>外来化学療法</td> <td>3,092件</td> <td>4,922件</td> <td>3,739件</td> </tr> </tbody> </table>		平成24年度	平成25年度	平成26年度	手術	1,123件	1,117件	1,068件	放射線療法	7,793件	7,928件	6,726件	外来化学療法	3,092件	4,922件	3,739件	① 地域がん診療連携拠点病院として、手術、放射線治療及び化学療法を効果的に組み合わせた集学的治療を提供した。 【実績】手術、放射線療法、外来化学療法の件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手術</td> <td>1,117件</td> <td>1,068件</td> <td>1,117件</td> <td>1,093件</td> </tr> <tr> <td>放射線療法</td> <td>7,928件</td> <td>6,726件</td> <td>7,959件</td> <td>7,931件</td> </tr> <tr> <td>外来化学療法</td> <td>4,922件</td> <td>3,739件</td> <td>4,337件</td> <td>4,167件</td> </tr> </tbody> </table> ※「外来化学療法」は、延べ件数である。		H25	H26	H27	H28	手術	1,117件	1,068件	1,117件	1,093件	放射線療法	7,928件	6,726件	7,959件	7,931件	外来化学療法	4,922件	3,739件	4,337件	4,167件	◇手術、放射線療法及び化学療法を効果的に組み合わせた治療が行われたか。	B	▽集学的治療を継続して行った。手術、放射線診療、外来化学療法の件数は、前年並であった。	A	B	自己評定のとおりに
	平成24年度	平成25年度	平成26年度																																								
手術	1,123件	1,117件	1,068件																																								
放射線療法	7,793件	7,928件	6,726件																																								
外来化学療法	3,092件	4,922件	3,739件																																								
	H25	H26	H27	H28																																							
手術	1,117件	1,068件	1,117件	1,093件																																							
放射線療法	7,928件	6,726件	7,959件	7,931件																																							
外来化学療法	4,922件	3,739件	4,337件	4,167件																																							
② 高度専門的ながん医療を提供するため、県全体の体制を踏まえながら、サイバーナイフの導入を検討する。	② 高度専門的ながん医療を提供するための治療装置として、県全体の体制を踏まえ高精度放射線治療装置(IMRT)の導入を決定し併せて治療棟の整備計画を策定した。	◇高度専門的ながん医療を提供するため、県全体の体制を踏まえながら、サイバーナイフの導入を検討をしたか。	A	▽検討の結果、高精度放射線治療装置(IMRT)の導入を決定し、さらに治療棟の整備計画も策定した。	—	A	自己評定のとおりに																																				

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 項目別評価シート

平成28年度・年度計画	平成28年度・年度実績	評価の視点	自己評価		H27 判定	委員会評価及び意見等																																																																																						
			判定			判定																																																																																						
<p>③ 患者の病態に応じ、より適切で効果的ながん医療を提供するため、専門的な知識及び技能を有する医療従事者の配置など体制の充実を図る。</p>	<p>③ 専門的な知識を有する医療従事者を「医療・福祉センター」に配置すると共に、従事者を専門研修に参加させ体制の強化を図った。</p> <p>【実績】がん相談件数</p> <table border="1"> <tr> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> </tr> <tr> <td>1,204件</td> <td>963件</td> <td>1,041件</td> <td>1,142件</td> </tr> </table>	H25	H26	H27	H28	1,204件	963件	1,041件	1,142件	<p>◇体制の充実を図ったか。</p>	A	<p>▽「医療・福祉センター」にがん相談員を配置すると共に、医療・福祉センター職員を「相談支援センター相談員基礎研修」に参加させるなど体制の充実を図った。</p> <p>▽がん相談員2名(社会福祉士)</p>	—	A	自己評価のとおり																																																																													
H25	H26	H27	H28																																																																																									
1,204件	963件	1,041件	1,142件																																																																																									
<p>④ 早期に適切な緩和ケアを提供するため、緩和ケアチームを中心とした体制の充実を図る。</p>	<p>④ 早期に適切な緩和ケアを提供するため、医師を緩和ケア研修会に参加させ体制の強化を図った。</p>	<p>◇適切な緩和ケアの体制を充実したか。</p>	B	<p>▽医師が「山形県がん診療に携わる医師に対する緩和ケア研修会」に参加し体制の強化を図った。(H28は研修修了者数61名で昨年度比9名増、緩和ケア患者数は493名であった。)また、日本海総合病院内の緩和ケアチームでタッチングケア研修を実施し体制の充実を図った。(5回実施)</p>	A	A	緩和ケアの体制が充実していることは評価できる。																																																																																					
<p>⑤ 院内がん登録及び地域がん登録を実施し、がん対策の進展に貢献する。</p> <p>関連指標(がん登録の件数)</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>平成24年度</td> <td>平成25年度</td> <td>平成26年度</td> </tr> <tr> <td>院内がん登録</td> <td>1,634件</td> <td>1,705件</td> <td>1,568件</td> </tr> <tr> <td>地域がん登録</td> <td>1,653件</td> <td>1,680件</td> <td>1,549件</td> </tr> </table>		平成24年度	平成25年度	平成26年度	院内がん登録	1,634件	1,705件	1,568件	地域がん登録	1,653件	1,680件	1,549件	<p>⑤ 地域がん診療連携拠点病院として、次のとおりがん登録を行い、がん対策の進展に貢献した。</p> <p>【実績】がん登録件数</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> </tr> <tr> <td>院内がん登録</td> <td>1,705件</td> <td>1,558件</td> <td>1,370件</td> <td>1,703件</td> </tr> <tr> <td>地域がん登録</td> <td>1,630件</td> <td>1,549件</td> <td>1,388件</td> <td>1,691件</td> </tr> </table>		H25	H26	H27	H28	院内がん登録	1,705件	1,558件	1,370件	1,703件	地域がん登録	1,630件	1,549件	1,388件	1,691件	<p>◇地域がん診療連携拠点病院として、院内がん登録及び地域がん登録を積極的に実施した。登録件数は昨年度比で2割以上増加し、がん対策に貢献した。</p>	A	<p>▽地域がん診療連携拠点病院として、院内がん登録及び地域がん登録を積極的に実施した。登録件数は昨年度比で2割以上増加し、がん対策に貢献した。</p>	A	A	自己評価のとおり																																																										
	平成24年度	平成25年度	平成26年度																																																																																									
院内がん登録	1,634件	1,705件	1,568件																																																																																									
地域がん登録	1,653件	1,680件	1,549件																																																																																									
	H25	H26	H27	H28																																																																																								
院内がん登録	1,705件	1,558件	1,370件	1,703件																																																																																								
地域がん登録	1,630件	1,549件	1,388件	1,691件																																																																																								
(ウ)脳卒中・急性心筋梗塞(日本海総合病院)																																																																																												
<p>① 高度専門的な内科的又は外科的治療を速やかにを行い、機能回復のため早期にリハビリテーションを開始する。</p> <p>関連指標(疾患別リハビリテーション実施状況)</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="2">平成24年度</td> <td colspan="2">平成25年度</td> <td colspan="2">平成26年度</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実患者数</td> <td>回診(単位数)</td> <td>実患者数</td> <td>回診(単位数)</td> <td>実患者数</td> <td>回診(単位数)</td> </tr> <tr> <td>脳血管疾患</td> <td>1,303名</td> <td>44,111回</td> <td>1,409名</td> <td>43,267回</td> <td>1,492名</td> <td>49,024回</td> </tr> <tr> <td>心大血管疾患</td> <td>422名</td> <td>9,197回</td> <td>504名</td> <td>12,457回</td> <td>639名</td> <td>17,557回</td> </tr> </table>		平成24年度		平成25年度		平成26年度			実患者数	回診(単位数)	実患者数	回診(単位数)	実患者数	回診(単位数)	脳血管疾患	1,303名	44,111回	1,409名	43,267回	1,492名	49,024回	心大血管疾患	422名	9,197回	504名	12,457回	639名	17,557回	<p>① 高度専門的な内科的又は外科的治療を速やかに行うとともに、患者の早期回復を図るため、早期にリハビリテーションを開始し、休日心大血管リハビリテーションを継続して実施した。</p> <p>【実績】疾患別リハビリテーション実施状況</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="2">H25</td> <td colspan="2">H26</td> <td colspan="2">H27</td> <td colspan="2">H28</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実患者数</td> <td>回診(単位数)</td> <td>実患者数</td> <td>回診(単位数)</td> <td>実患者数</td> <td>回診(単位数)</td> <td>実患者数</td> <td>回診(単位数)</td> </tr> <tr> <td>脳血管疾患</td> <td>1,409名</td> <td>43,267回</td> <td>1,492名</td> <td>43,044回</td> <td>1,148名</td> <td>40,729回</td> <td>772名</td> <td>42,562回</td> </tr> <tr> <td>心大血管疾患</td> <td>504名</td> <td>12,457回</td> <td>639名</td> <td>17,557回</td> <td>699名</td> <td>16,779回</td> <td>762名</td> <td>19,491回</td> </tr> </table> <p>【実績】休日の心大血管リハビリテーション実施状況</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="2">H25</td> <td colspan="2">H27</td> <td colspan="2">H28</td> </tr> <tr> <td></td> <td>実患者数</td> <td>回診(単位数)</td> <td>実患者数</td> <td>回診(単位数)</td> <td>実患者数</td> <td>回診(単位数)</td> </tr> <tr> <td>1,441名</td> <td>1,571回</td> <td>121回</td> <td>1,407名</td> <td>1,547回</td> <td>123回</td> <td>1,225回</td> </tr> </table>		H25		H26		H27		H28			実患者数	回診(単位数)	実患者数	回診(単位数)	実患者数	回診(単位数)	実患者数	回診(単位数)	脳血管疾患	1,409名	43,267回	1,492名	43,044回	1,148名	40,729回	772名	42,562回	心大血管疾患	504名	12,457回	639名	17,557回	699名	16,779回	762名	19,491回		H25		H27		H28			実患者数	回診(単位数)	実患者数	回診(単位数)	実患者数	回診(単位数)	1,441名	1,571回	121回	1,407名	1,547回	123回	1,225回	<p>◇機能回復のため早期にリハビリテーションを開始したか。</p>	A	<p>▽患者の早期回復を図るため、急性心筋梗塞等の手術後、速やかにリハビリテーションを開始すると共に平成28年10月から新たに心大血管リハビリテーション以外についても休日リハビリテーションを開始した。</p>	A	A	自己評価のとおり
	平成24年度		平成25年度		平成26年度																																																																																							
	実患者数	回診(単位数)	実患者数	回診(単位数)	実患者数	回診(単位数)																																																																																						
脳血管疾患	1,303名	44,111回	1,409名	43,267回	1,492名	49,024回																																																																																						
心大血管疾患	422名	9,197回	504名	12,457回	639名	17,557回																																																																																						
	H25		H26		H27		H28																																																																																					
	実患者数	回診(単位数)	実患者数	回診(単位数)	実患者数	回診(単位数)	実患者数	回診(単位数)																																																																																				
脳血管疾患	1,409名	43,267回	1,492名	43,044回	1,148名	40,729回	772名	42,562回																																																																																				
心大血管疾患	504名	12,457回	639名	17,557回	699名	16,779回	762名	19,491回																																																																																				
	H25		H27		H28																																																																																							
	実患者数	回診(単位数)	実患者数	回診(単位数)	実患者数	回診(単位数)																																																																																						
1,441名	1,571回	121回	1,407名	1,547回	123回	1,225回																																																																																						
<p>② 急性心筋梗塞の治療にあたっては、多職種連携による緊急入院体制を強化するとともに、Door to balloon time(病院到着時から、カテーテル治療による血流再開までの時間)90分以内を実践する。</p>	<p>② 急性心筋梗塞の救急搬送患者に対しては、速やかに集中治療室に転送し、迅速な救命治療の実施を行った。また、術後の速やかなリハビリテーションの開始により患者の機能回復に努めた。</p>	<p>◇多職種連携による緊急入院体制を強化したか。</p> <p>◇Door to balloon time(病院到着時から、カテーテル治療による血流再開までの時間)90分以内を実践したか。</p>	B	<p>▽医師、看護師、コメディカルスタッフが連携し、治療・入院体制を整えどの時間帯であっても救急搬送後、速やかにカテーテル治療を行い半数の患者で「Door to balloon time」90分以内を実践することができた。</p>	A	B	自己評価のとおり																																																																																					

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 項目別評価シート

平成28年度・年度計画	平成28年度・年度実績	評価の視点	判定	自己評定	H27 判定	委員会評価及び意見等																																																																																									
<p>(工)糖尿病(日本海総合病院)</p> <p>医師、看護師及び管理栄養士等が協働して、治療又は生活習慣改善のため、糖尿病教室等の患者教育・指導を行う。</p> <p>関連指標(糖尿病教室の開催状況)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>12回</td> <td>14回</td> <td>16回</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>45名</td> <td>44名</td> <td>55名</td> </tr> </tbody> </table> <p>関連指標(個別栄養指導の実施状況)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入 院</td> <td>239件</td> <td>252件</td> <td>300件</td> </tr> <tr> <td>外 来</td> <td>336件</td> <td>327件</td> <td>400件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>575件</td> <td>579件</td> <td>700件</td> </tr> </tbody> </table>		平成24年度	平成25年度	平成26年度	開催回数	12回	14回	16回	参加人数	45名	44名	55名		平成24年度	平成25年度	平成26年度	入 院	239件	252件	300件	外 来	336件	327件	400件	合計	575件	579件	700件	<p>医師、看護師及び管理栄養士等が協働して、治療又は生活習慣改善のため、糖尿病教室等の患者教育・指導を次のとおり行った。</p> <p>【実績】糖尿病教室</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>14回</td> <td>18回</td> <td>19回</td> <td>19回</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>44名</td> <td>55名</td> <td>65名</td> <td>68名</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】糖尿病透析予防指導の実患者数、指導回数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実患者数</td> <td>25名</td> <td>30名</td> <td>14名</td> <td>6名</td> </tr> <tr> <td>指導回数</td> <td>56回</td> <td>73回</td> <td>32回</td> <td>19回</td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】教育入院患者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>50名</td> <td>85名</td> <td>66名</td> <td>64名</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【実績】個別栄養指導件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院</td> <td>252件</td> <td>300件</td> <td>288件</td> <td>253件</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>327件</td> <td>400件</td> <td>386件</td> <td>296件</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>579件</td> <td>700件</td> <td>684件</td> <td>549件</td> </tr> </tbody> </table>		H25	H26	H27	H28	開催回数	14回	18回	19回	19回	参加人数	44名	55名	65名	68名		H25	H26	H27	H28	実患者数	25名	30名	14名	6名	指導回数	56回	73回	32回	19回		H25	H26	H27	H28	50名	85名	66名	64名			H25	H26	H27	H28	入院	252件	300件	288件	253件	外来	327件	400件	386件	296件	合計	579件	700件	684件	549件	<p>◇医師、看護師及び管理栄養士等が協働して糖尿病患者の教育等を行ったか。</p>	B	▽医師、看護師及び管理栄養士等が協働して、治療を行うと共に、糖尿病教室、糖尿病透析予防指導、教育入院、個別栄養指導を実施した。	A	B	自己評定のとおり
	平成24年度	平成25年度	平成26年度																																																																																												
開催回数	12回	14回	16回																																																																																												
参加人数	45名	44名	55名																																																																																												
	平成24年度	平成25年度	平成26年度																																																																																												
入 院	239件	252件	300件																																																																																												
外 来	336件	327件	400件																																																																																												
合計	575件	579件	700件																																																																																												
	H25	H26	H27	H28																																																																																											
開催回数	14回	18回	19回	19回																																																																																											
参加人数	44名	55名	65名	68名																																																																																											
	H25	H26	H27	H28																																																																																											
実患者数	25名	30名	14名	6名																																																																																											
指導回数	56回	73回	32回	19回																																																																																											
	H25	H26	H27	H28																																																																																											
50名	85名	66名	64名																																																																																												
	H25	H26	H27	H28																																																																																											
入院	252件	300件	288件	253件																																																																																											
外来	327件	400件	386件	296件																																																																																											
合計	579件	700件	684件	549件																																																																																											
<p>(オ)精神疾患(日本海総合病院)</p> <p>地域の精神科病院等との役割分担及び連携を図り、電気痙攣療法等の高度専門的な医療を提供する。</p>	<p>地域の精神科病院等との役割分担及び連携を図り、電気痙攣療法等の高度専門的な医療を提供した。</p> <p>【実績】精神科電気痙攣療法の実施件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>164件</td> <td>147件</td> <td>108件</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		H26	H27	H28	164件	147件	108件		<p>◇地域の精神科病院等との役割分担及び連携を図り、高度専門的な医療を提供したか。</p>	B	▽急性期病院として精神疾患を有する身体合併症患者を受け入れると共に、電気痙攣療法等の高度専門的な医療を提供した。 ▽県立こころの医療センターと締結している医療観察法対象者の入院受入協定書、医療連携及び緊急時の患者搬送措置に関する覚書の締結を継続した。	—	A	地域の精神科病院等との役割分担及び連携が進み、高度専門的な医療を提供している。																																																																																
	H26	H27	H28																																																																																												
164件	147件	108件																																																																																													
<p>(カ)小児・周産期医療(日本海総合病院)</p> <p>① 二次周産期医療機関として、他の医療機関との機能分担及び連携を図り、ハイリスク分娩の対応、母体搬送及び新生児搬送の受け入れを行う。</p> <p>関連指標(平成26年度 母体・新生児の救急受け入れ状況)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">救急受け入れ患者数</th> <th>緊急帝王切開術</th> </tr> <tr> <th>母体</th> <th>新生児</th> <th>(件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7名</td> <td>8名</td> <td>22件</td> </tr> </tbody> </table>	救急受け入れ患者数		緊急帝王切開術	母体	新生児	(件)	7名	8名	22件	<p>① 二次周産期医療機関として、他の医療機関との機能分担及び連携を図り、ハイリスク分娩への対応など、周産期に係る高度な産科医療を実施した。</p> <p>【実績】母体・新生児の救急受け入れ状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">H26</th> <th colspan="2">H27</th> <th colspan="2">H28</th> </tr> <tr> <th>救急受け入れ患者数</th> <th>緊急帝王切開術(件)</th> <th>救急受け入れ患者数</th> <th>緊急帝王切開術(件)</th> <th>救急受け入れ患者数</th> <th>緊急帝王切開術(件)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>母体</td> <td>新生児</td> <td>母体</td> <td>新生児</td> <td>母体</td> <td>新生児</td> </tr> <tr> <td>7名</td> <td>8名</td> <td>22件</td> <td>5名 4名</td> <td>27件</td> <td>19名 4名</td> </tr> </tbody> </table>	H26		H27		H28		救急受け入れ患者数	緊急帝王切開術(件)	救急受け入れ患者数	緊急帝王切開術(件)	救急受け入れ患者数	緊急帝王切開術(件)	母体	新生児	母体	新生児	母体	新生児	7名	8名	22件	5名 4名	27件	19名 4名	<p>◇二次周産期医療機関として母体搬送等の受け入れを行ったか。</p>	A	▽二次周産期医療を行う拠点病院として、ハイリスク分娩や帝王切開など高度な周産期医療を提供すると共に、他の医療機関から救急搬送された、母体、新生児の受け入れを行った。 ▽母体受け入れ患者数は、昨年度比酒田市から7名増、鶴岡市から2名増、全体で14名の増加となった。	A	A	自己評定のとおり																																																							
救急受け入れ患者数		緊急帝王切開術																																																																																													
母体	新生児	(件)																																																																																													
7名	8名	22件																																																																																													
H26		H27		H28																																																																																											
救急受け入れ患者数	緊急帝王切開術(件)	救急受け入れ患者数	緊急帝王切開術(件)	救急受け入れ患者数	緊急帝王切開術(件)																																																																																										
母体	新生児	母体	新生児	母体	新生児																																																																																										
7名	8名	22件	5名 4名	27件	19名 4名																																																																																										
<p>② 産科医及び小児科医の充実した体制のもと、地域の住民が安心して出産し、かつ子育てができるよう良質な医療を提供するとともに、三次周産期医療機関である総合周産期母子医療センター及び地域周産期母子医療センターとの連携を図る。</p>	<p>② 産科及び小児科の専門医の充実した体制により、地域の住民が安心して出産できる環境を提供した。また、三次周産期医療機関である山形県立中央病院及び鶴岡市立荘内病院との連携を図った。</p> <p>【実績】母体・新生児の救急搬送患者数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急搬送患者数(母体)</td> <td>5名</td> <td>6名</td> <td>14名</td> </tr> <tr> <td>救急搬送患者数(新生児)</td> <td>3名</td> <td>1名</td> <td>2名</td> </tr> </tbody> </table>		H26	H27	H28	救急搬送患者数(母体)	5名	6名	14名	救急搬送患者数(新生児)	3名	1名	2名	<p>◇三次周産期医療機関である総合周産期母子医療センター及び地域周産期母子医療センターとの連携を図ったか。</p>	A	▽三次周産期医療機関である山形県立中央病院及び鶴岡市立荘内病院との連携を図り、母体、新生児の救急搬送を適切に行った。 ▽救急搬送患者は、昨年度比母体、新生児合わせて9名増加した。	—	A	自己評定のとおり																																																																												
	H26	H27	H28																																																																																												
救急搬送患者数(母体)	5名	6名	14名																																																																																												
救急搬送患者数(新生児)	3名	1名	2名																																																																																												

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 項目別評価シート

平成28年度・年度計画	平成28年度・年度実績	評価の視点	自己評定		H27	委員会評価及び意見等																																																															
			判定	自己評定	判定	判定	委員会評価及び意見等																																																														
<p>(キ)回復期リハビリテーション (酒田医療センター)</p> <p>脳血管疾患や大腿骨頸部骨折等により障がいが生じた患者のADLを改善し、早期に在宅療養又は社会復帰ができるよう、リハビリテーションを集中的に提供する。</p> <p>経過指標(得意別リハビリテーション実施状況)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">平成24年度</th> <th colspan="2">平成25年度</th> <th colspan="2">平成26年度</th> </tr> <tr> <th>患者数</th> <th>要介護数</th> <th>患者数</th> <th>要介護数</th> <th>患者数</th> <th>要介護数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>脳血管疾患</td> <td>143名</td> <td>40,168時間</td> <td>235名</td> <td>41,781時間</td> <td>375名</td> <td>66,175時間</td> </tr> <tr> <td>運動器</td> <td>112名</td> <td>12,128時間</td> <td>211名</td> <td>15,532時間</td> <td>197名</td> <td>28,045時間</td> </tr> </tbody> </table>		平成24年度		平成25年度		平成26年度		患者数	要介護数	患者数	要介護数	患者数	要介護数	脳血管疾患	143名	40,168時間	235名	41,781時間	375名	66,175時間	運動器	112名	12,128時間	211名	15,532時間	197名	28,045時間	<p>脳血管疾患や大腿骨頸部骨折等により障がいが生じた患者のADLを改善し、早期に在宅療養又は社会復帰ができるよう、リハビリテーションを集中的に提供する。また、通所リハビリテーションの定員を10名から20名に増員し、利用者の拡大を図った。</p> <p>【実績】得意別リハビリテーション実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">H25</th> <th colspan="2">H26</th> <th colspan="2">H27</th> <th colspan="2">H28</th> </tr> <tr> <th>患者数</th> <th>要介護数</th> <th>患者数</th> <th>要介護数</th> <th>患者数</th> <th>要介護数</th> <th>患者数</th> <th>要介護数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>脳血管疾患</td> <td>299名</td> <td>49,741時間</td> <td>375名</td> <td>66,175時間</td> <td>313名</td> <td>45,122時間</td> <td>259名</td> <td>62,414時間</td> </tr> <tr> <td>運動器</td> <td>311名</td> <td>15,532時間</td> <td>197名</td> <td>28,045時間</td> <td>168名</td> <td>26,572時間</td> <td>181名</td> <td>44,051時間</td> </tr> </tbody> </table>		H25		H26		H27		H28		患者数	要介護数	患者数	要介護数	患者数	要介護数	患者数	要介護数	脳血管疾患	299名	49,741時間	375名	66,175時間	313名	45,122時間	259名	62,414時間	運動器	311名	15,532時間	197名	28,045時間	168名	26,572時間	181名	44,051時間	<p>◇早期に在宅療養又は社会復帰ができるよう、リハビリテーションを集中的に提供したか。</p>	S	<p>▽理学療法士、作業療法士各3名を増員し35名体制とし、休日を含めたリハビリテーション提供体制の充実に努めた。</p> <p>▽通所リハビリテーションの定員を10名から20名に増員し、利用者の拡大を図った。結果として、延べ利用者数が大幅に増加し、前年度比1,034人増の2,786人となった。</p>	A	S	自己評定のとおり
		平成24年度		平成25年度		平成26年度																																																															
	患者数	要介護数	患者数	要介護数	患者数	要介護数																																																															
脳血管疾患	143名	40,168時間	235名	41,781時間	375名	66,175時間																																																															
運動器	112名	12,128時間	211名	15,532時間	197名	28,045時間																																																															
	H25		H26		H27		H28																																																														
	患者数	要介護数	患者数	要介護数	患者数	要介護数	患者数	要介護数																																																													
脳血管疾患	299名	49,741時間	375名	66,175時間	313名	45,122時間	259名	62,414時間																																																													
運動器	311名	15,532時間	197名	28,045時間	168名	26,572時間	181名	44,051時間																																																													
<p>(ク)在宅医療支援及び療養支援</p> <p>① 退院後、在宅療養へ患者が円滑に移行し、切れ目なくサービスの提供を受けることができるよう、入院初期から積極的に支援を行う。</p>	<p>① 日本海総合病院では、退院後、在宅療養へ患者が円滑に移行し、切れ目なくサービスを受けることができるよう、地域連携室の看護師7名及び医療福祉相談室の退院支援専任社会福祉士1名(退院支援職員)が地域の介護・福祉・医療機関との連携を図りながら、患者との退院調整業務を行った。</p> <p>【実績】退院調整件数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>他 病 院</td> <td>853件</td> <td>864件</td> <td>893件</td> <td>909件</td> </tr> <tr> <td>在 宅</td> <td>402件</td> <td>410件</td> <td>460件</td> <td>13,278件</td> </tr> <tr> <td>介護老人保健施設</td> <td>84件</td> <td>93件</td> <td>101件</td> <td>134件</td> </tr> <tr> <td>介護老人福祉施設</td> <td>110件</td> <td>113件</td> <td>92件</td> <td>24件</td> </tr> <tr> <td>ショートステイ</td> <td>101件</td> <td>82件</td> <td>76件</td> <td>127件</td> </tr> <tr> <td>有料老人ホーム</td> <td>130件</td> <td>112件</td> <td>151件</td> <td>222件</td> </tr> <tr> <td>そ の 他</td> <td>61件</td> <td>69件</td> <td>62件</td> <td>118件</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>1,831件</td> <td>1,879件</td> <td>1,824件</td> <td>15,542件</td> </tr> </tbody> </table> <p>H28年度の在宅への退院調整件数について H28年度診療報酬改定により、各病棟に専任の退院調整職員を配置したことから、在宅への退院調整件数が大幅に増加した。</p>		H25	H26	H27	H28	他 病 院	853件	864件	893件	909件	在 宅	402件	410件	460件	13,278件	介護老人保健施設	84件	93件	101件	134件	介護老人福祉施設	110件	113件	92件	24件	ショートステイ	101件	82件	76件	127件	有料老人ホーム	130件	112件	151件	222件	そ の 他	61件	69件	62件	118件	合 計	1,831件	1,879件	1,824件	15,542件	<p>◇在宅療養へ患者が円滑に移行できるよう退院調整又は入院前面談を行い、切れ目のないサービス提供に努めたか。</p>	S	<p>▽日本海総合病院では、退院支援職員(看護師、社会福祉士)が地域の介護・福祉・医療機関と連携しながら患者の退院調整を行った。</p> <p>▽退院支援職員を増員すると共に各病棟担当制にしたことにより、退院調整件数は大幅に増加した。</p>	A	S	退院支援職員の配置により、切れ目ない、スピーディなサービス提供が行われていることを高く評価する。																	
	H25	H26	H27	H28																																																																	
他 病 院	853件	864件	893件	909件																																																																	
在 宅	402件	410件	460件	13,278件																																																																	
介護老人保健施設	84件	93件	101件	134件																																																																	
介護老人福祉施設	110件	113件	92件	24件																																																																	
ショートステイ	101件	82件	76件	127件																																																																	
有料老人ホーム	130件	112件	151件	222件																																																																	
そ の 他	61件	69件	62件	118件																																																																	
合 計	1,831件	1,879件	1,824件	15,542件																																																																	
<p>② 在宅患者が安心して地域で療養ができるよう、他の医療・介護・福祉機関と連携して支援する。</p>	<p>② 在宅患者が安心して地域で療養ができるよう、「大腿骨近位部骨折地域連携バス」及び「脳卒中地域連携バス」を運用し連携を図りながら関連施設や関連機関との診療情報の共有及び評価を行いながら支援した。</p> <p>【実績】地域連携診療計画加算算定数(日本海総合病院)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域連携診療計画加算</td> <td>236件</td> </tr> </tbody> </table>		H28	地域連携診療計画加算	236件	<p>◇他の医療・介護・福祉機関と連携し支援したか。</p>	B	<p>▽在宅患者が安心して地域で療養できるよう、大腿骨近位部骨折地域連携バスや脳卒中地域連携バスの運用等により、他の機関と連携を図りながら積極的に支援を行った。</p>	—	B	自己評定のとおり																																																										
	H28																																																																				
地域連携診療計画加算	236件																																																																				
<p>③ 酒田医療センターは、訪問リハビリテーションを検討する。</p>	<p>③ 酒田医療センターは、訪問リハビリテーションの実施を検討するにあたり、現在行っている通所リハビリテーションの中で、リハビリテーション以外の人浴等の時間を省いた短時間のリハビリテーションの必要性が再認識されたため、今後の提供体制を引き続き検討することとした。</p>	<p>◇酒田医療センターは、訪問リハビリテーションを検討したか。</p>	B	<p>▽現在行っている通所リハビリテーションの中で、短時間のリハビリテーションの必要性も再認識されたため、訪問リハビリテーションについては、短時間リハビリテーションも含め、引き続き検討することとした。</p>	—	B	自己評定のとおり																																																														
<p>④ 酒田医療センターは、在宅医療を行っている診療所等を支援するため、入院治療が必要となった患者の受け入れ体制について連携強化を図る。</p>	<p>④ 酒田医療センターは、在宅医療を行っている診療所等と連携を図り、入院治療が必要となった患者を22名受け入れた。</p>	<p>◇在宅医療を行っている診療所等を支援するために、受け入れ体制について連携強化を図ったか。</p>	B	<p>▽診療所等と連携して、急性増悪のため入院治療が必要となった患者の受け入れを適切に行った。</p> <p>▽昨年度より9名増の22名の患者を受け入れた。</p>	A	B	自己評定のとおり																																																														

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 項目別評価シート

平成28年度・年度計画	平成28年度・年度実績	評価の視点	自己評価		H27 判定	委員会評価及び意見等																									
			判定			判定																									
イ 高度医療機器の計画的な更新・整備 (日本海総合病院)																															
① 高度専門医療等の充実のため、中期計画期間中における医療機器の更新・整備計画を策定し、高度医療機器の計画的な更新・整備を行う。	① 高度専門医療等の充実のため、平成28年度は次のとおり医療機器の更新を行った。 【実績】 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>診療科</td> <td>機器名</td> <td>備考</td> </tr> <tr> <td>外科</td> <td>内視鏡外科手術システム</td> <td>更新</td> </tr> <tr> <td>消化器内科</td> <td>内視鏡部門システム</td> <td>更新</td> </tr> <tr> <td>放射線科</td> <td>全身用X線CT診断装置(256列)</td> <td>更新</td> </tr> </table>	診療科	機器名	備考	外科	内視鏡外科手術システム	更新	消化器内科	内視鏡部門システム	更新	放射線科	全身用X線CT診断装置(256列)	更新	◇高度医療機器等の更新・整備を計画的に行ったか。	B	▽高度医療機器の更新等に当たっては、起債を活用し、計画的に更新を行った。	A	B	自己評価のとおり												
診療科	機器名	備考																													
外科	内視鏡外科手術システム	更新																													
消化器内科	内視鏡部門システム	更新																													
放射線科	全身用X線CT診断装置(256列)	更新																													
② 高度医療機器は、稼働率や収支の予測を十分に行い更新・整備する。	② 高度医療機器については、装置の稼働率、設置に対する採算性、収支の予測を十分に行い更新した。	◇装置の稼働率、設置に対する採算性、収支の予測を十分に行い更新したか。	B	▽装置の稼働率、設置に対する採算性、収支の予測を十分に行い更新を行った。	A	B	自己評価のとおり																								
ウ 災害時や健康危機における医療協力 (日本海総合病院)																															
① 大規模事故や災害時には、自らの判断又は県の要請等に基づき、DMAT(災害派遣医療チーム)等を現地に派遣して医療支援活動を行う。	① 平成28年熊本地震においては、山形県からの派遣要請を受け、日本海総合病院職員5名(医師1名、看護師2名、薬剤師1名、検査技師1名)からなる医療救護班を5日間(4月25日(月)～30日(土))被災地に派遣した。	◇大規模事故や災害時に医療支援活動を行ったか。	A	▽山形県からの派遣要請を受け、日本海総合病院職員5名を被災地に派遣し医療救護活動を行った。	A	A	自己評価のとおり																								
② 大規模災害時には、県の要請に基づき、県内の空港に設置されたSCU(航空搬送拠点臨時医療施設)の運営に協力する。	② 庄内SCU(航空搬送拠点臨時医療施設)の機能整備への協力として、山形県所有の医療用資機材を日本海総合病院のDMAT資材庫で保管し、引き続き管理を行った。	◇SCUの運営に協力したか。	B	▽日本海総合病院に保管されている、山形県が所有する庄内SCU医療用資機材の点検等を行い、要請に応じて速やかに使用できるよう管理した。	A	B	自己評価のとおり																								
③ 災害拠点病院の機能を十分に発揮できるよう、災害時に必要な医療物資等を備蓄するほか優先納入契約を継続し、災害時医療体制の充実・強化を図る。	③ 災害拠点病院の機能を十分に発揮できるよう、災害時に必要な医療物資等を備蓄するほか優先納入契約を継続し、災害時医療体制の充実・強化を図った。また、食糧備蓄としてカロリーメイトロングライフ(600食分)の補充を行った。	◇災害対応に必要な物品等の備蓄等、災害の体制充実・強化を図ったか。	B	▽燃料等の優先納入契約及び飲料水等の提供に関する協定、また、食糧備蓄、医療物資等の備蓄を継続した。	A	B	自己評価のとおり																								
④ 周辺地域で災害等が発生した場合に備え、定期的に災害対応訓練を行う。	④ 周辺地域で災害等が発生した場合に備え、災害対策委員会が主体となって、日本海総合病院全職員、委託業者及び地域の医療従事者を対象に、災害医療研修及び訓練を次のとおり実施した。また、平成28年10月1日に山形県で開催された東北ブロックDMAT参集訓練と合同で当院の実働訓練を実施し、当院の支援DMATとして合計8チームが来院した。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>場所</th> <th>内 容</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28.5.19</td> <td>日本海総合病院 講堂</td> <td>(災害医療研修会) 非常災害の基礎と1)アージ</td> <td>179名</td> </tr> <tr> <td>H28.6.10</td> <td>日本海総合病院 講堂・エントランスホール</td> <td>複製患者を使ったトリアージ研修会 協力：酒田地区消防団消防本部</td> <td>149名 (うち関係者 5名)</td> </tr> <tr> <td>H28.7.21</td> <td>日本海総合病院 講堂</td> <td>(災害医療研修会) 大規模災害発生時の日本海総合病院の役割 (災害備)</td> <td>151名</td> </tr> <tr> <td>H28.8.8</td> <td>日本海総合病院 エントランスホール</td> <td>災害時に机上訓練 (机上での災害対応訓練の役割)</td> <td>148名</td> </tr> <tr> <td>H28.10.1</td> <td>日本海総合病院 エントランスホール</td> <td>災害対応実働訓練 (東北ブロック DMAT 参集訓練と合同で実施 訓練を実施) 協力：酒田地区消防団消防本部 酒田市立酒田診療専門病院</td> <td>259名</td> </tr> </tbody> </table>	実施日	場所	内 容	参加人数	H28.5.19	日本海総合病院 講堂	(災害医療研修会) 非常災害の基礎と1)アージ	179名	H28.6.10	日本海総合病院 講堂・エントランスホール	複製患者を使ったトリアージ研修会 協力：酒田地区消防団消防本部	149名 (うち関係者 5名)	H28.7.21	日本海総合病院 講堂	(災害医療研修会) 大規模災害発生時の日本海総合病院の役割 (災害備)	151名	H28.8.8	日本海総合病院 エントランスホール	災害時に机上訓練 (机上での災害対応訓練の役割)	148名	H28.10.1	日本海総合病院 エントランスホール	災害対応実働訓練 (東北ブロック DMAT 参集訓練と合同で実施 訓練を実施) 協力：酒田地区消防団消防本部 酒田市立酒田診療専門病院	259名	◇定期的に災害訓練等を行ったか。	A	▽災害対策委員会が主体となって、日本海総合病院全職員、委託業者及び地域の医療従事者を対象に、災害医療研修及び訓練を実施し、訓練参加者数は、昨年度比で121名増加した。 ▽平成28年10月1日の災害対応実働訓練は、東北ブロックDMAT参集訓練と同時に、院内で他県のDMATチームと連携を図りながら実施した。 ▽他の医療機関が実施した災害医療訓練・研修に参加したほかインストラクターとしての派遣も行った。	A	A	自己評価のとおり
実施日	場所	内 容	参加人数																												
H28.5.19	日本海総合病院 講堂	(災害医療研修会) 非常災害の基礎と1)アージ	179名																												
H28.6.10	日本海総合病院 講堂・エントランスホール	複製患者を使ったトリアージ研修会 協力：酒田地区消防団消防本部	149名 (うち関係者 5名)																												
H28.7.21	日本海総合病院 講堂	(災害医療研修会) 大規模災害発生時の日本海総合病院の役割 (災害備)	151名																												
H28.8.8	日本海総合病院 エントランスホール	災害時に机上訓練 (机上での災害対応訓練の役割)	148名																												
H28.10.1	日本海総合病院 エントランスホール	災害対応実働訓練 (東北ブロック DMAT 参集訓練と合同で実施 訓練を実施) 協力：酒田地区消防団消防本部 酒田市立酒田診療専門病院	259名																												

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 項目別評価シート

平成28年度・年度計画	平成28年度・年度実績	評価の視点	自己評価		H27	委員会評価及び意見等																																																	
			判定	自己評価	判定	判定	意見等																																																
	<p>他の機関が実施した災害医療訓練又は研修に、次のとおり参加した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>会場</th> <th>訓練・研修名</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28.5.21~22</td> <td>福島市</td> <td>DMAT技能補修研修(東北ブロック)</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>H28.8.8</td> <td>茨城県</td> <td>総合防災訓練</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>H28.9.4</td> <td>酒田市</td> <td>酒田市総合防災訓練</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>H28.10.1~2</td> <td>山形県</td> <td>東北 DMAT 秋季訓練</td> <td>1.5名</td> </tr> <tr> <td>H28.2.20~23</td> <td>東京都立川市</td> <td>災害派遣医療チーム研修(防災訓練研修)</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>H28.2.25~26</td> <td>宮城県松島町</td> <td>DMAT ロジスティックチーム研修(災害派遣研修(2日間))</td> <td>1名</td> </tr> </tbody> </table> <p>他の機関が実施した災害医療訓練及び研修に、次のとおりインストラクターを派遣した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日</th> <th>会場</th> <th>訓練・研修名</th> <th>派遣人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28.5.21~22</td> <td>福島市</td> <td>DMAT技能補修研修(東北ブロック)</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>H28.8.8</td> <td>山形県</td> <td>総合防災訓練</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>H28.10.1~2</td> <td>山形県</td> <td>東北 DMAT 秋季訓練</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>H28.1.14~15</td> <td>仙台市</td> <td>DMAT技能補修研修(東北ブロック)</td> <td>2名</td> </tr> </tbody> </table>	実施日	会場	訓練・研修名	参加人数	H28.5.21~22	福島市	DMAT技能補修研修(東北ブロック)	3名	H28.8.8	茨城県	総合防災訓練	4名	H28.9.4	酒田市	酒田市総合防災訓練	3名	H28.10.1~2	山形県	東北 DMAT 秋季訓練	1.5名	H28.2.20~23	東京都立川市	災害派遣医療チーム研修(防災訓練研修)	2名	H28.2.25~26	宮城県松島町	DMAT ロジスティックチーム研修(災害派遣研修(2日間))	1名	実施日	会場	訓練・研修名	派遣人数	H28.5.21~22	福島市	DMAT技能補修研修(東北ブロック)	2名	H28.8.8	山形県	総合防災訓練	2名	H28.10.1~2	山形県	東北 DMAT 秋季訓練	2名	H28.1.14~15	仙台市	DMAT技能補修研修(東北ブロック)	2名						
実施日	会場	訓練・研修名	参加人数																																																				
H28.5.21~22	福島市	DMAT技能補修研修(東北ブロック)	3名																																																				
H28.8.8	茨城県	総合防災訓練	4名																																																				
H28.9.4	酒田市	酒田市総合防災訓練	3名																																																				
H28.10.1~2	山形県	東北 DMAT 秋季訓練	1.5名																																																				
H28.2.20~23	東京都立川市	災害派遣医療チーム研修(防災訓練研修)	2名																																																				
H28.2.25~26	宮城県松島町	DMAT ロジスティックチーム研修(災害派遣研修(2日間))	1名																																																				
実施日	会場	訓練・研修名	派遣人数																																																				
H28.5.21~22	福島市	DMAT技能補修研修(東北ブロック)	2名																																																				
H28.8.8	山形県	総合防災訓練	2名																																																				
H28.10.1~2	山形県	東北 DMAT 秋季訓練	2名																																																				
H28.1.14~15	仙台市	DMAT技能補修研修(東北ブロック)	2名																																																				
⑤ 地域住民の生命を脅かす新たな感染症や薬物・食中毒等の健康危機事象が発生したときは、関係機関との緊密な連携のもと迅速な対応ができるよう、合同で研修を行う。	<p>⑤ 地域住民の生命を脅かす新たな感染症や薬物・食中毒等の健康危機事象が発生した際に関係機関との緊密な連携のもと迅速な対応ができるよう、庄内保健所主催による研修会に参加した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日等</th> <th>研修内容</th> <th>日本海総合病院参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28.11.2 酒田市立総合病院</td> <td>新型インフルエンザ等発生時に備えた災害対応(院内) 講師:山形大学医学部附属病院 感染症科 院内感染対策委員長 森野 啓太 先生</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	実施日等	研修内容	日本海総合病院参加者	H28.11.2 酒田市立総合病院	新型インフルエンザ等発生時に備えた災害対応(院内) 講師:山形大学医学部附属病院 感染症科 院内感染対策委員長 森野 啓太 先生		<p>◇関係機関と合同で研修を行ったか。</p>	B	<p>▽関係機関である庄内保健所の感染対策研修会に参加し、健康危機事象に対応する研修を行った。</p>	—	B	自己評価のとおり																																										
実施日等	研修内容	日本海総合病院参加者																																																					
H28.11.2 酒田市立総合病院	新型インフルエンザ等発生時に備えた災害対応(院内) 講師:山形大学医学部附属病院 感染症科 院内感染対策委員長 森野 啓太 先生																																																						
エ 政策医療の実施(日本海総合病院)																																																							
① 「山形県保健医療計画」等と整合性を図りながら、庄内二次医療圏の中核的な医療機関として、民間の医療機関では導入が困難な技術や先進的な技術の導入に取り組む。	<p>① 庄内二次医療圏の中核的な医療機関として、当地域の民間の医療機関では導入が困難である、高精度放射線治療装置(IMRT)の導入を決定した。</p>	<p>◇民間の医療機関では導入が困難な技術や先進的な技術の導入に取り組んだか。</p>	B	<p>▽地方の民間医療機関では導入が難しい、高精度放射線治療装置(IMRT)の導入を決定した。</p>	—	B	自己評価のとおり																																																
② 第二種感染症指定医療機関として、適切な医療を提供し、感染症に迅速かつ的確に対応する。	<p>② 第二種感染症指定医療機関として、感染症に迅速かつ的確に対応するため、関係機関とともに「庄内地域新型インフルエンザ等関係機関対策合同訓練」に参加した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施日等</th> <th>関係機関</th> <th>日本海総合病院参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28.11.2 酒田市立総合病院</td> <td>酒田市立庄内病院 酒田市消防本部 庄交ハイヤー株式会社</td> <td>院内感染対策委員会 3名</td> </tr> </tbody> </table>	実施日等	関係機関	日本海総合病院参加者	H28.11.2 酒田市立総合病院	酒田市立庄内病院 酒田市消防本部 庄交ハイヤー株式会社	院内感染対策委員会 3名	<p>◇感染症への迅速かつ的確な対応に努めたか。</p>	B	<p>▽迅速かつ的確な対応に備えるため、庄内保健所の「庄内地域新型インフルエンザ等関係機関対策合同訓練」に参加した。</p>	A	B	自己評価のとおり																																										
実施日等	関係機関	日本海総合病院参加者																																																					
H28.11.2 酒田市立総合病院	酒田市立庄内病院 酒田市消防本部 庄交ハイヤー株式会社	院内感染対策委員会 3名																																																					
③ 認知症患者医療センター運営事業実施要綱に基づき、認知症患者に関する鑑別診断とその初期対応、周辺症状と身体合併症の急性期治療、専門医療相談等を実施する。	<p>③ 認知症患者医療センター運営事業実施要綱に基づき、認知症患者の専門医療相談、鑑別診断等を引き続き行った。</p> <table border="1"> <caption>開演指標(専門医療相談の実施状況)</caption> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規相談件数</td> <td>789件</td> <td>733件</td> <td>741件</td> </tr> <tr> <td>継続相談件数</td> <td>286件</td> <td>416件</td> <td>355件</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>【実績】相談件数</caption> <thead> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規相談件数</td> <td>733件</td> <td>741件</td> <td>581件</td> <td>502件</td> </tr> <tr> <td>継続相談件数</td> <td>416件</td> <td>355件</td> <td>321件</td> <td>342件</td> </tr> </tbody> </table>		平成24年度	平成25年度	平成26年度	新規相談件数	789件	733件	741件	継続相談件数	286件	416件	355件		H25	H26	H27	H28	新規相談件数	733件	741件	581件	502件	継続相談件数	416件	355件	321件	342件	<p>◇認知症患者医療センターとしての役割を果たし相談等を実施したか。</p>	B	<p>▽庄内地域で唯一の認知症患者医療センターとして、認知症患者の専門医療相談を実施した。</p>	A	B	自己評価のとおり																					
	平成24年度	平成25年度	平成26年度																																																				
新規相談件数	789件	733件	741件																																																				
継続相談件数	286件	416件	355件																																																				
	H25	H26	H27	H28																																																			
新規相談件数	733件	741件	581件	502件																																																			
継続相談件数	416件	355件	321件	342件																																																			
④ へき地医療拠点病院として、酒田市との協定により酒田市飛鳥診療所に医師を派遣するなど、地域住民の医療の確保に努める。	<p>④ へき地医療拠点病院として、酒田市との協定により酒田市飛鳥診療所に4月から10月まで合計21回医師を派遣し、離島の診療応援を行い、地域住民の医療の確保に努めた。</p> <table border="1"> <caption>【実績】平成28年度 飛鳥診療所 診療応援医師派遣回数</caption> <thead> <tr> <th>月</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>2回</td> <td>3回</td> <td>4回</td> <td>5回</td> <td>3回</td> <td>21回</td> </tr> </tbody> </table> <p>へりでの患者数1回</p>	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計	回数	2回	2回	2回	3回	4回	5回	3回	21回	<p>◇医師を派遣し、地域住民の医療の確保に努めたか。</p>	A	<p>▽週1回(金、土)医師を飛鳥診療所に派遣し、診療応援を行った。また、日本海総合病院救命救急センター、飛鳥診療所、ドクターヘリとの連携を図り、救急患者のスムーズな受け入れを行った。</p>	S	A	自己評価のとおり																														
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計																																															
回数	2回	2回	2回	3回	4回	5回	3回	21回																																															

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 項目別評価シート

平成28年度・年度計画	平成28年度・年度実績	評価の視点	自己評価		H27 判定	委員会評価及び意見等							
			判定	自己評価		判定	委員会評価及び意見等						
⑤ 地域において必要性の高い救急医療、周産期医療、小児医療を担う医療機関として、救急科専門医をはじめ各医療分野の専門医の確保に努める。	⑤ 地域において必要性の高い救急医療、周産期医療、小児医療を担う医療機関として、救急科専門医1名を育成した。	◇救急科専門医をはじめ各医療分野の専門医の確保に努めたか。	A	▽救急科専門医1名を新たに育成した。また、在籍している医師が新たに専門医の資格を取得した。 ・循環器専門医1名・総合内科専門医1名 ・消化器外科専門医1名・てんかん専門医1名	—	A	自己評価のとおり						
⑥ 脳死下臓器移植について、提供施設として研修を行う。	⑥ 脳死下臓器移植について、院内コーディネーター及び関係部門が参加し、脳死下における臓器提供の必要性に関する研修会を開催した。 <table border="1" data-bbox="548 343 952 422"> <tr> <th>実施日時</th> <th>研修内容</th> <th>参加人数</th> </tr> <tr> <td>H28.5.10 日本海総合病院 講堂</td> <td>「なぜ、山形で臓器提供が必要か？」 講師：山形大学医学部腎臓移植外科学講座 助教 西田 重人 先生</td> <td>53人</td> </tr> </table>	実施日時	研修内容	参加人数	H28.5.10 日本海総合病院 講堂	「なぜ、山形で臓器提供が必要か？」 講師：山形大学医学部腎臓移植外科学講座 助教 西田 重人 先生	53人	◇提供施設として研修を行ったか。	B	▽提供施設として山形大学医学部の協力を得て、脳死下臓器移植についての研修会を開催した。	A	B	自己評価のとおり
実施日時	研修内容	参加人数											
H28.5.10 日本海総合病院 講堂	「なぜ、山形で臓器提供が必要か？」 講師：山形大学医学部腎臓移植外科学講座 助教 西田 重人 先生	53人											
(2)医療スタッフの確保及び資質向上													
ア 医療人材の確保・育成													
① 日本海総合病院は、高度専門医療等の安定的な提供を図るため、専門資格を有する医療従事者の確保・育成に努める。	① 日本海総合病院は、高度専門医療等の安定的な提供を図るため、延べ221名の職員を学会等へ派遣し、専門資格を有する医療従事者の確保・育成に努めた。 <small>【実績】平成28年度新規取得の主な専門資格 日本食道学会食道科認定医、日本てんかん学会てんかん専門医 日本プライマリ・ケア連合学会認定指導医</small>	◇高度専門医療等の安定的な提供を図るため、専門資格を有する医療従事者の確保・育成に努めたか。	A	▽職員を専門分野の学会等へ派遣し、専門資格を有する医療従事者の確保・育成に努めた。	—	A	自己評価のとおり						
② 日本海総合病院は、新しい専門医制度の開始に伴い、関連大学等との調整及び研修プログラムを策定する。	② 日本海総合病院は、新しい専門医制度の開始に伴い、専門研修基幹施設として関連大学等と調整し、内科領域の専門研修プログラムを申請した。	◇新しい専門医制度の開始に伴い、関連大学等との調整及び研修プログラムを策定したか。	S	▽内科領域の専門研修プログラムを策定し申請を行った。	—	S	自己評価のとおり						
③ 日本海総合病院は、臨床研修医及びレジデント(専門分野の研修医)の受入れ、医師の確保に努める	③ 日本海総合病院は、臨床研修医27名、レジデント(専門分野の研修医)26名を受入れ、医師の確保に努めた。	◇臨床研修医及びレジデントの受入れ、医師の確保に努めたか。	A	▽前年度に比べ2名増の、臨床研修医27名、レジデント26名、合計53名の医師を確保した。	S	A	自己評価のとおり						
④ 日本海総合病院は、地方独立行政法人那覇市立病院と、2年次目の臨床研修医について、交換地域医療研修を実施する。	④ 日本海総合病院は、地方独立行政法人那覇市立病院2年次臨床研修医1名と日本海総合病院2年次臨床研修医4名との間で、臨床研修医を相互に受け入れる交換地域医療研修を実施した。	◇那覇市立病院との間で、交換地域医療研修を実施したか。	B	▽昨年度に引き続き、日本海総合病院の2年次臨床研修医4名と、那覇市立病院の2年次臨床研修医1名の交換地域医療研修を実施した。	A	B	自己評価のとおり						
⑤ 教育・研修体制の充実及び自己研鑽・研究のサポート体制の充実に努め、各職種の専門性の向上を図る。	⑤ 教育・研修体制の充実及び自己研鑽・研究のサポート体制の充実に努め、各職種の専門性の向上を図るため、役職別の研修(年6回)に加え、各部門独自で専門能力を高める研修や、特別研修としてコミュニケーション能力向上のアサーティブ研修を開催した。	◇教育・研修体制の充実及び自己研鑽・研究のサポート体制の充実に努め、各職種の専門性の向上性を図ったか。	B	▽職員研修規程に基づき、役職別、部門別研修を行った。また、新たに特別研修として対話能力等コミュニケーションに関する研修(アサーティブ研修)を行った。	A	B	自己評価のとおり						
⑥ 優秀な看護師又は助産師を育成・確保するため、看護師等修学資金貸与制度を継続して実施する。	⑥ 優秀な看護師及び助産師を育成・確保するため、看護師等修学資金貸与を継続して行い、5名の新規貸与者を含む計14名に貸与した。また、貸与終了した3名のうち2名を当機構職員として採用した。	◇修学資金の貸与を継続して実施したか。	A	▽新規貸与者5名を含む計14名に修学資金の貸与を行った。また、貸与終了者3名のうち2名が当機構職員として入職し、この制度の目的を果たした。 (当機構入職者) ・平成27年度1名・平成28年度2名	S	A	自己評価のとおり						

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 項目別評価シート

平成28年度・年度計画	平成28年度・年度実績	評価の視点	自己評価		H27 判定	委員会評価及び意見等																												
			判定	自己評価		判定	委員会評価及び意見等																											
イ 事務職員の確保と専門性の向上																																		
① 診療情報管理士等の専門資格の取得及び研修の充実により、事務職員の資質向上を図る。	① 専門資格の取得など事務職員の資質向上を図るため、診療情報管理士通信教育を6名、メディカルレコードコーディネーター養成のための診療情報管理講座を11名が受講した。	◇専門資格の取得及び研修の充実により、事務職員の資質向上を図った。	B	▽新たに診療情報管理士通信教育(2年間)を6名、メディカルレコードコーディネーター養成のための診療情報管理講座(6か月間)を11名が受講し資質の向上を図った。	A	B	自己評価のとおり																											
② 病院運営の高度化・複雑化に対応できる組織を作るため、専門的知識と病院経営を俯瞰できるマネジメント力を兼ね備えた事務職員の育成に取り組む。	② 病院運営の高度化・複雑化に対応できる事務職員育成の取り組みとして、役職別、希望別に事務能力向上を目的とした研修を6回開催し、延べ135名が受講した。	◇専門的知識と病院経営を俯瞰できるマネジメント力を兼ね備えた事務職員の育成に取り組んだ。	B	▽タイムマネジメント研修など、事務能力向上を目的とした研修を、新たに役職別、希望別に開催し、事務職員の育成に取り組んだ。	A	B	自己評価のとおり																											
ウ 職員の勤務環境の改善																																		
① 職員が仕事に誇りを持ち、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)を確保し、意欲的かつ安心して業務に従事できる環境づくりに努める。	① 職員が仕事に誇りを持ち、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)を確保し、意欲的かつ安心して業務に従事できる環境づくりに努め、育児短時間勤務、病児・病後時保育、夜間保育などの活用を推進し、働きやすい職場作りに努めた。	◇意欲的かつ安心して業務に従事できる環境づくりに努めた。	B	▽育児短時間勤務(1名)、病児・病後時保育(職員利用者延べ人数(90名)、夜間保育(4名)などの活用を推進し環境づくりに努めた。	—	B	自己評価のとおり																											
② 家族の介護や子育て等を行う医師を支援するとともに、医師のキャリアパスに配慮し、短時間正職員制度など多様な勤務形態を取り入れる。	② 家族の介護や子育て等を行う医師を支援するとともに、医師のキャリアパスに配慮し、短時間正職員制度など多様な勤務形態を取り入れた。	◇短時間正職員制度など多様な勤務形態を取り入れた。	B	▽医師短時間正職員制度1名、育児短時間勤務1名(医師)が、この制度を利用した。	—	B	自己評価のとおり																											
③ 病棟看護師の負担軽減と勤務形態の多様化を図るため、二交代制勤務の導入を検討する。	③ 病棟看護師の負担軽減と勤務形態の多様化を図るため、二交代制勤務の導入を検討し、試行していた4階南病棟について平成28年11月から本格実施した。また、平成29年2月から3階南病棟の試行を開始した。	◇二交代制勤務の導入を検討した。	A	▽4階南(消化器内科の単科)病棟において検討、試行を進め平成28年11月から本格実施を行った。また、3階南(消化器内科、眼科等の複合)病棟においても平成29年2月から試行を開始し、看護師の負担軽減と勤務形態の多様化を図った。	A	A	自己評価のとおり																											
④ 医師をはじめとする医療従事者の負担軽減を図り、効率的に業務を遂行するため、クラーク及び補助者の担当業務の拡大を検討・実施する。	④ 病棟及び外来に医師事務作業補助者を配置し、医療従事者の負担軽減を図った。 【実績】 医事クラークの配置数 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> </tr> <tr> <td>59名</td> <td>52名</td> <td>61名</td> <td>64名</td> </tr> </table>	H25	H26	H27	H28	59名	52名	61名	64名	◇クラーク及び補助者の担当業務の拡大を検討・実施した。	A	▽医事クラーク3名を増員し、担当業務の拡大を図り、医療従事者の負担軽減を図った。 <ul style="list-style-type: none"> ・消化器内科 1名→2名 ・外科外来 1名→2名 ・泌尿器科外来 0名→1名 	A	A	自己評価のとおり																			
H25	H26	H27	H28																															
59名	52名	61名	64名																															
(3)医療サービスの効果的な提供																																		
ア 地域連携の推進																																		
① 日本海総合病院は、良質な医療サービスを効果的に提供するため、庄内二次医療圏における中核的な医療機関としての役割を果たし、他の医療機関との連携を推進し、日本海総合病院においては、地域医療支援病院の指定要件である紹介率50%かつ逆紹介率70%以上を目標とする。	① 日本海総合病院は、良質な医療サービスを効果的に提供するため、庄内二次医療圏における中核的な医療機関としての役割を果たし、他の医療機関との連携を推進し、日本海総合病院においては、地域医療支援病院の指定要件の目標値である紹介率50%かつ逆紹介率70%以上を達成した。 【実績】 年度別 紹介率、逆紹介率 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>【目標値】</td> </tr> <tr> <td>紹介率</td> <td>62.2%</td> <td>47.2%</td> <td>52.7%</td> <td>64.4%</td> <td>50%以上</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>47.2%</td> <td>67.5%</td> <td>77.3%</td> <td>97.2%</td> <td>70%以上</td> </tr> </table>		H25	H26	H27	H28	【目標値】	紹介率	62.2%	47.2%	52.7%	64.4%	50%以上	逆紹介率	47.2%	67.5%	77.3%	97.2%	70%以上	◇日本海総合病院は他の医療機関との連携を推進した。	S	▽庄内地域の中核的な医療機関として、紹介・逆紹介を推進するため、継続して「診療のご案内」の作成、配布等、地域の他の医療機関との役割分担及び連携の強化を図り、地域医療支援病院の指定要件である紹介率50%以上、逆紹介率70%以上の目標値を大幅に上回る事ができた。	S	S	自己評価のとおり									
	H25	H26	H27	H28	【目標値】																													
紹介率	62.2%	47.2%	52.7%	64.4%	50%以上																													
逆紹介率	47.2%	67.5%	77.3%	97.2%	70%以上																													
<p>順進指標 (年度別 紹介率、逆紹介率)</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>平成24年度</td> <td>平成25年度</td> <td>平成26年度</td> <td>【目標値】</td> </tr> <tr> <td>紹介率</td> <td>61.5%</td> <td>62.2%</td> <td>47.2%</td> <td>50%以上</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>45.2%</td> <td>47.2%</td> <td>67.5%</td> <td>70%以上</td> </tr> </table> <p>※地域医療支援病院における算出方法による。(歯科口腔外科を含む。)</p>		平成24年度	平成25年度	平成26年度	【目標値】	紹介率	61.5%	62.2%	47.2%	50%以上	逆紹介率	45.2%	47.2%	67.5%	70%以上	<p>【実績】 年度別 紹介率、逆紹介率</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td>H25</td> <td>H26</td> <td>H27</td> <td>H28</td> <td>【目標値】</td> </tr> <tr> <td>紹介率</td> <td>62.2%</td> <td>47.2%</td> <td>52.7%</td> <td>64.4%</td> <td>50%以上</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>47.2%</td> <td>67.5%</td> <td>77.3%</td> <td>97.2%</td> <td>70%以上</td> </tr> </table> <p>※地域医療支援病院における算出方法による。(歯科口腔外科を含む。)</p>		H25	H26	H27	H28	【目標値】	紹介率	62.2%	47.2%	52.7%	64.4%	50%以上	逆紹介率	47.2%	67.5%	77.3%	97.2%	70%以上
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	【目標値】																														
紹介率	61.5%	62.2%	47.2%	50%以上																														
逆紹介率	45.2%	47.2%	67.5%	70%以上																														
	H25	H26	H27	H28	【目標値】																													
紹介率	62.2%	47.2%	52.7%	64.4%	50%以上																													
逆紹介率	47.2%	67.5%	77.3%	97.2%	70%以上																													

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 項目別評価シート

平成28年度・年度計画	平成28年度・年度実績	評価の視点	自己評定		H27 判定	委員会評価及び意見等																																																																																											
			判定	自己評定		判定	委員会評価及び意見等																																																																																										
② 日本海総合病院は、山形県立こころの医療センターとの「医療観察法対象者の入院受入協定書」及び「医療連携及び緊急時の患者搬送措置に関する覚書」に基づき、入院患者の身体合併症に連携して対応する。	② 日本海総合病院は、山形県立こころの医療センターと平成26年度から締結している「医療連携及び緊急時の患者搬送措置に関する覚書」及び「医療観察法保護法対象者の入院受入協定書」に基づき、医療観察法病棟等に入院した患者で、急性期医療が必要となった患者の受入れを行った。	◇協定書等に基づき、連携して身体合併症患者の受入れに対応したか。	B	▽県立こころの医療センターから、急性期医療が必要となった医療観察保護対象患者(1名)の受け入れを行った。	—	B	自己評定のとおりに																																																																																										
③ 日本海総合病院は、患者の広域化に対応し、ICTを活用して地域、医療圏を超えた医療連携を推進する。	③ 日本海総合病院は、患者の広域化に対応し、ICTを活用して地域、医療圏を超えた医療連携を推進するため、H29年3月に県立中央病院と連携を開始した。また、H29年3月に全県域ネットワーク協議会担当者会議に参加した。	◇地域、医療圏を超えた医療連携を推進したか。	B	▽平成29年3月、新たに県立中央病院との医療連携を開始し、診療録、処方等を開示した。	—	B	自己評定のとおりに																																																																																										
④ 地域包括ケアシステムの構築に向けて、行政機関、地域の介護・福祉施設等との連携を強化し、退院後の医療支援や施設入所のための情報共有を図り、医療・介護・福祉へと切れ目のないサービスの提供に努める。	④ 地域包括ケアシステムの構築に向け、行政機関、地域包括支援センターや地域の介護・福祉機関との連携を強化し、介護・福祉機関との積極的な情報交換や、退院時カンファレンスの取り組みの強化等により、医療から介護・福祉へと円滑かつ切れ目のないサービスの提供に努めた。 【実績】 連携件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>退院時共同指導</td> <td>53件</td> <td>73件</td> <td>68件</td> <td>90件</td> </tr> <tr> <td>介護支援連携指導</td> <td>775件</td> <td>756件</td> <td>877件</td> <td>1,033件</td> </tr> </tbody> </table>		H25	H26	H27	H28	退院時共同指導	53件	73件	68件	90件	介護支援連携指導	775件	756件	877件	1,033件	◇医療・介護・福祉へと切れ目のないサービスの提供に努めたか。	S	▽地域の介護・福祉機関との連携により、情報共有を図り退院時共同指導、介護支援連携指導件数も大幅に増加し、切れ目のないサービス提供に積極的に努めた。	A	S	自己評定のとおりに																																																																											
	H25	H26	H27	H28																																																																																													
退院時共同指導	53件	73件	68件	90件																																																																																													
介護支援連携指導	775件	756件	877件	1,033件																																																																																													
イ 診療情報の共有化																																																																																																	
① 庄内二次医療圏全体で、効率的で適切な医療やケアを提供するため、地域医療情報ネットワーク等のICTを活用し、他の医療機関や介護・福祉施設等との診療情報の共有化を推進する	① 庄内二次医療圏全体で、効率的で適切な医療やケアを提供するため、地域医療情報ネットワーク等のICTを活用し、他の医療機関や介護・福祉施設等との診療情報の共有化を推進するため「ちよっかいネット」における検診データ開示範囲の拡大を行った。 【実績】 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28.4</td> <td>酒田市国保の特定健診についてデータを開示</td> </tr> <tr> <td>H28.10</td> <td>特定健診の開示範囲に庄内町を追加</td> </tr> <tr> <td>H29.2</td> <td>内視鏡画像の開示を開始</td> </tr> </tbody> </table>			H28.4	酒田市国保の特定健診についてデータを開示	H28.10	特定健診の開示範囲に庄内町を追加	H29.2	内視鏡画像の開示を開始	◇ICTを活用し、他の医療機関や介護・福祉施設等との診療情報の共有化を推進したか。	S	▽ちよっかいネット利用登録施設数は171施設、登録人数は26,619名で、昨年度に比べ施設数は14施設、登録人数は5,802名と大きく増加した。また、検診データの開示範囲の拡大も行った。	S	S	自己評定のとおりに																																																																																		
H28.4	酒田市国保の特定健診についてデータを開示																																																																																																
H28.10	特定健診の開示範囲に庄内町を追加																																																																																																
H29.2	内視鏡画像の開示を開始																																																																																																
② 日本海総合病院は、国等が新たなICTを活用した実証実験を行う場合、これに協力する。	② 日本海総合病院は、公的個人認証サービスの実証実験について協議を行い、平成29年度の総務省「医療等分野における高精細映像等データ共有基盤の在り方に関する実証実験」に参加することとした。	◇国等の新たなICTを活用した実証実験に協力したか。	B	▽平成29年度の総務省「医療等分野における高精細映像等データ共有基盤の在り方に関する実証実験」に参加することを決定した。	—	B	自己評定のとおりに																																																																																										
ウ 地域連携クリティカルパスの活用 (日本海総合病院)																																																																																																	
① 効率的で適切な医療を提供するため、地域連携クリティカルパスの活用を推進する。 <table border="1"> <caption>関連指標(地域連携クリティカルパスの活用状況)</caption> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肺がん</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>大腸がん</td> <td>13件</td> <td>19件</td> <td>21件</td> </tr> <tr> <td>肝がん</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>乳がん</td> <td>24件</td> <td>18件</td> <td>14件</td> </tr> <tr> <td>胃がん</td> <td>9件</td> <td>27件</td> <td>19件</td> </tr> <tr> <td>大腸癌肺転移</td> <td>105件</td> <td>118件</td> <td>144件</td> </tr> <tr> <td>脳卒中</td> <td>92件</td> <td>290件</td> <td>246件</td> </tr> <tr> <td>心臓カテーテル</td> <td></td> <td></td> <td>87件</td> </tr> <tr> <td>前立腺がん</td> <td></td> <td></td> <td>17件</td> </tr> </tbody> </table>		平成24年度	平成25年度	平成26年度	肺がん	0件	0件	0件	大腸がん	13件	19件	21件	肝がん	0件	0件	0件	乳がん	24件	18件	14件	胃がん	9件	27件	19件	大腸癌肺転移	105件	118件	144件	脳卒中	92件	290件	246件	心臓カテーテル			87件	前立腺がん			17件	① 効率的で適切な医療を提供するため「ちよっかいネット」を活用し、大腸癌頸部骨折、5大がん、前立腺がん、脳卒中等の地域クリティカルパスの適用件数の増加に努めた。 【実績】 地域連携クリティカルパス適用件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肺がん</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>大腸がん</td> <td>19件</td> <td>21件</td> <td>15件</td> <td>11件</td> </tr> <tr> <td>肝がん</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>乳がん</td> <td>18件</td> <td>14件</td> <td>17件</td> <td>16件</td> </tr> <tr> <td>胃がん</td> <td>27件</td> <td>19件</td> <td>24件</td> <td>19件</td> </tr> <tr> <td>大腸癌頸部骨折</td> <td>118件</td> <td>144件</td> <td>110件</td> <td>128件</td> </tr> <tr> <td>脳卒中</td> <td>290件</td> <td>246件</td> <td>226件</td> <td>194件</td> </tr> <tr> <td>心臓リハビリテーション</td> <td></td> <td>87件</td> <td>112件</td> <td>118件</td> </tr> <tr> <td>前立腺がん</td> <td></td> <td>17件</td> <td>48件</td> <td>65件</td> </tr> </tbody> </table>		H25	H26	H27	H28	肺がん	0件	0件	0件	0件	大腸がん	19件	21件	15件	11件	肝がん	0件	0件	0件	0件	乳がん	18件	14件	17件	16件	胃がん	27件	19件	24件	19件	大腸癌頸部骨折	118件	144件	110件	128件	脳卒中	290件	246件	226件	194件	心臓リハビリテーション		87件	112件	118件	前立腺がん		17件	48件	65件	◇地域連携クリティカルパスの活用を推進したか。	B	▽地域連携クリティカルパスの活用を継続して行い、患者負担の軽減及び他の医療機関との機能分担を図り、効率的な医療の提供に努めた。件数は昨年並みの549件となった。	A	B	自己評定のとおりに
	平成24年度	平成25年度	平成26年度																																																																																														
肺がん	0件	0件	0件																																																																																														
大腸がん	13件	19件	21件																																																																																														
肝がん	0件	0件	0件																																																																																														
乳がん	24件	18件	14件																																																																																														
胃がん	9件	27件	19件																																																																																														
大腸癌肺転移	105件	118件	144件																																																																																														
脳卒中	92件	290件	246件																																																																																														
心臓カテーテル			87件																																																																																														
前立腺がん			17件																																																																																														
	H25	H26	H27	H28																																																																																													
肺がん	0件	0件	0件	0件																																																																																													
大腸がん	19件	21件	15件	11件																																																																																													
肝がん	0件	0件	0件	0件																																																																																													
乳がん	18件	14件	17件	16件																																																																																													
胃がん	27件	19件	24件	19件																																																																																													
大腸癌頸部骨折	118件	144件	110件	128件																																																																																													
脳卒中	290件	246件	226件	194件																																																																																													
心臓リハビリテーション		87件	112件	118件																																																																																													
前立腺がん		17件	48件	65件																																																																																													

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 項目別評価シート

平成28年度・年度計画	平成28年度・年度実績	評価の視点	自己評価		H27 判定	委員会評価及び意見等																																																							
			判定			判定																																																							
② 地域で支える「地域完結型医療」を推進するため、新たな地域連携クリティカルパスの導入に努める。	② 地域で支える「地域完結型医療」を推進するため、平成29年3月から庄内脳卒中地域連携パスの運用を開始した。	◇新たな地域連携クリティカルパスの導入に努めたか。	B	▽平成29年3月から新たに酒田地区の病院等と鶴岡地区医師会による、庄内脳卒中地域連携パスの運用を開始した。	—	B	自己評価のとおり																																																						
(4)教育研修事業の充実																																																													
ア 庄内地域における医療水準の向上 (日本海総合病院)																																																													
① 庄内二次医療圏の中核的な医療機関として、関連大学の医学生を受け入れるなど、質の高い医療従事者の育成に努める。 開進指標（臨床研修医等の受入れ状況）	① 庄内二次医療圏の中核的な医療機関として、関連大学の医学生を受け入れるなど、質の高い医療従事者の育成に努めた。 【実績】 臨床研修医等の受入れ状況	◇質の高い医療従事者の育成に努めたか。	B	▽臨床研修医、レジデントの受入れだけでなく、山形大学からはスチューデントドクター、東北大学からは地域医療実習の医学生を継続して受入れた。	S	B	自己評価のとおり																																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> <th>平成26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>臨床研修医</td> <td>21名</td> <td>20名</td> <td>28名</td> </tr> <tr> <td>レジデント</td> <td>16名</td> <td>23名</td> <td>28名</td> </tr> <tr> <td>スチューデントドクター</td> <td>19名</td> <td>38名</td> <td>51名</td> </tr> <tr> <td>臨床医学研修生</td> <td>1名</td> <td>2名</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>地域医療実習生</td> <td>4名</td> <td>4名</td> <td>5名</td> </tr> </tbody> </table>		平成24年度	平成25年度	平成26年度	臨床研修医	21名	20名	28名	レジデント	16名	23名	28名	スチューデントドクター	19名	38名	51名	臨床医学研修生	1名	2名	0名	地域医療実習生	4名	4名	5名	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>臨床研修医</td> <td>20名</td> <td>28名</td> <td>29名</td> <td>28名</td> </tr> <tr> <td>レジデント</td> <td>23名</td> <td>28名</td> <td>22名</td> <td>28名</td> </tr> <tr> <td>スチューデントドクター</td> <td>38名</td> <td>51名</td> <td>67名</td> <td>76名</td> </tr> <tr> <td>臨床医学研修生</td> <td>1名</td> <td>2名</td> <td>2名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>地域医療実習生</td> <td>4名</td> <td>4名</td> <td>4名</td> <td>5名</td> </tr> </tbody> </table>		H25	H26	H27	H28	臨床研修医	20名	28名	29名	28名	レジデント	23名	28名	22名	28名	スチューデントドクター	38名	51名	67名	76名	臨床医学研修生	1名	2名	2名	1名	地域医療実習生	4名	4名	4名	5名						
	平成24年度	平成25年度	平成26年度																																																										
臨床研修医	21名	20名	28名																																																										
レジデント	16名	23名	28名																																																										
スチューデントドクター	19名	38名	51名																																																										
臨床医学研修生	1名	2名	0名																																																										
地域医療実習生	4名	4名	5名																																																										
	H25	H26	H27	H28																																																									
臨床研修医	20名	28名	29名	28名																																																									
レジデント	23名	28名	22名	28名																																																									
スチューデントドクター	38名	51名	67名	76名																																																									
臨床医学研修生	1名	2名	2名	1名																																																									
地域医療実習生	4名	4名	4名	5名																																																									
② 酒田市立酒田看護専門学校の実習施設として、優秀な看護師を育成するため、看護教員の養成を図る。	② 酒田市立酒田看護専門学校の実習施設として、優秀な看護師を育成するため、平成29年度看護教員養成研修に派遣する職員を選出した。	◇看護教員を養成したか。	B	▽平成29年度看護教員養成研修に派遣する職員1名を選出した。(研修期間はH29.6月～H30.3月)	A	B	自己評価のとおり																																																						
③ 救急救命士の病院実習を受け入れ、救急医療の水準向上を図る。	③ プレホスピタルケア技術の向上を図るため、救急救命士養成課程の臨床実習、就業前研修、再教育実習及び山形県消防学校救急科の病院実習を実施し、計64名の実習生を受け入れた。 【実績】	◇救急救命士の実習を受け入れ、救急医療の水準向上を図ったか。	A	▽昨年度比10名増の実習生を受け入れ救急医療の水準向上に努めた。	—	A	自己評価のとおり																																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>臨床実習</td> <td>7名</td> <td>4名</td> <td>4名</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>就業前研修</td> <td>3名</td> <td>3名</td> <td>3名</td> <td>5名</td> </tr> <tr> <td>再教育実習</td> <td>24名</td> <td>36名</td> <td>38名</td> <td>41名</td> </tr> <tr> <td>病院実習</td> <td>8名</td> <td>9名</td> <td>9名</td> <td>15名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>42名</td> <td>52名</td> <td>54名</td> <td>64名</td> </tr> </tbody> </table>		H25	H26	H27	H28	臨床実習	7名	4名	4名	3名	就業前研修	3名	3名	3名	5名	再教育実習	24名	36名	38名	41名	病院実習	8名	9名	9名	15名	計	42名	52名	54名	64名																														
	H25	H26	H27	H28																																																									
臨床実習	7名	4名	4名	3名																																																									
就業前研修	3名	3名	3名	5名																																																									
再教育実習	24名	36名	38名	41名																																																									
病院実習	8名	9名	9名	15名																																																									
計	42名	52名	54名	64名																																																									
イ 住民意識の啓発活動(日本海総合病院)																																																													
① 住民を対象としたセミナー及び病院広報紙「あきほ」等を活用し、医療や健康に関する情報発信を行う。	① 医療や健康に関する情報発信として、生涯学習施設里仁館で開催される健康講座に職員を派遣するとともに、広報紙「あきほ」を年4回発行し、正しい医療知識の啓蒙に努めた。 【実績】	◇医療や健康に関する情報発信をしたか。	B	▽生涯学習施設の健康講座に職員を講師として派遣すると共に、病院広報紙「あきほ」を4回定期発行し、健康や治療、選定療養費等に関する情報の発信を行った。	A	B	自己評価のとおり																																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>講師</th> <th>題名</th> <th>開催日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>緩和ケア認定看護師</td> <td>緩和ケアについて</td> <td>5/25(水)</td> </tr> <tr> <td>呼吸器外科医師</td> <td>肺癌の外科治療</td> <td>6/22(水)</td> </tr> <tr> <td>脳神経外科医師</td> <td>脳卒中の治療と予防</td> <td>7/20(水)</td> </tr> </tbody> </table>	講師	題名	開催日	緩和ケア認定看護師	緩和ケアについて	5/25(水)	呼吸器外科医師	肺癌の外科治療	6/22(水)	脳神経外科医師	脳卒中の治療と予防	7/20(水)																																																
講師	題名	開催日																																																											
緩和ケア認定看護師	緩和ケアについて	5/25(水)																																																											
呼吸器外科医師	肺癌の外科治療	6/22(水)																																																											
脳神経外科医師	脳卒中の治療と予防	7/20(水)																																																											
② 住民の健康意識の向上のため、関係機関と連携し啓発活動に努める。	② 住民の健康意識の向上のため、地域住民を対象に市民公開講座を開催し、がんに関する情報提供を行った。 【実績】	◇健康意識の向上のため、地域住民に対し、啓発活動を行ったか。	B	▽地域がん診療拠点病院として、酒田市、酒田地区医師会、庄内保健所と連携し、市民公開講座を開催し、社会生活面での啓発活動を行った。	A	B	自己評価のとおり																																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>開催日等</th> <th>研修内容</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28.8.27 ホテルリッチ& ガーデン酒田</td> <td>知っておきたい「がん」と「お薬」のお話 ～仕事と治療を両立するために～ 講師：厚労省社会保険労務士事務所 伊藤美智子先生</td> <td>70人</td> </tr> </tbody> </table>	開催日等	研修内容	参加人数	H28.8.27 ホテルリッチ& ガーデン酒田	知っておきたい「がん」と「お薬」のお話 ～仕事と治療を両立するために～ 講師：厚労省社会保険労務士事務所 伊藤美智子先生	70人																																																						
開催日等	研修内容	参加人数																																																											
H28.8.27 ホテルリッチ& ガーデン酒田	知っておきたい「がん」と「お薬」のお話 ～仕事と治療を両立するために～ 講師：厚労省社会保険労務士事務所 伊藤美智子先生	70人																																																											

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 項目別評価シート

平成28年度・年度計画	平成28年度・年度実績	評価の視点	自己評価		H27	委員会評価及び意見等																
			判定	自己評価	判定	委員会評価及び意見等																
3 患者・住民の満足度の向上																						
① 日本海総合病院は、患者やその家族の満足度を高めるため、アンケート調査の実施等により、そのニーズを把握しサービスの向上に努めるとともに、新たな患者利便施設について検討する。	① 患者や家族のニーズを把握するアンケートを実施し、結果を受けて改善を進めた。 ア 「身だしなみ基準」の作成 イ 授乳室の新設 ウ 形成外来スペースに待機場所新設 エ 病棟の空調作動時間を延長	◇患者ニーズの把握と新たな患者利便施設の検討を行ったか。	A	▽平成28年7月に患者満足度アンケートを実施し、積極的に患者ニーズの把握に努めると共に、結果を基に授乳室の新設などを行った。また、新たに平成27年度末に整備した部屋を7月から患者用の休憩室として利用を開始し、またエントランスホール脇の中庭をオープンテラスに改修し患者の休憩場所として提供し患者の利便性の向上を図った。	A	A	自己評価のとおり															
② 日本海総合病院は、来院者の意見を取り入れ、院内環境等の快適性の向上、受付から会計までの在院時間や入院手続きの改善に努める。	② 日本海総合病院は、来院者の意見を取り入れ、院内環境等の快適性の向上、受付から会計までの在院時間の短縮のため、エントランスにおける患者等の動線の見直しを行った。	◇院内環境等の快適性の向上、受付から会計までの在院時間の短縮のため、エントランスにおける患者等の動線の見直しを行ったか。	A	▽在院時間短縮のため、エントランスホールの動線や、診療申込書の簡略化及び紹介患者の受付方法の見直し等を行い、平成28年4月からその運用を開始し、受付段階で10～15分の待ち時間の短縮が図られた。	A	A	自己評価のとおり															
③ 今後、策定される地域医療構想を踏まえ、それぞれの病院の役割等を、ホームページ、病院広報紙「あきほ」、市広報等を活用してPRする。	③ 今後、策定される地域医療構想を踏まえ、それぞれの病院の役割等を、ホームページ、病院広報紙「あきほ」、市広報等を活用してPRを行った。	◇病院の役割をPRしたか。	B	▽広報紙「あきほ」を4回発行(1回2,700部)し、病院の役割、診療科の紹介等を行った。また、ホームページでも随時、病院の情報を発信した。	A	B	自己評価のとおり															
4 法令等の遵守と情報公開の推進																						
① 職員一人ひとりが、山形県・酒田市病院機構倫理綱領に従って行動し、コンプライアンスの周知徹底に取り組む。	① 法令順守意識の徹底のため、コンプライアンス等の職員研修を実施した。	◇コンプライアンスの周知徹底に取り組んだか。	B	▽職員研修において法人の基本理念、倫理綱領、職員の行動指針などの周知徹底に取り組んだ。	A	B	自己評価のとおり															
② 山形県・酒田市病院機構における各病院の経営状況を公開する。	② 山形県・酒田市病院機構における各病院の経営状況を病院概要の発行及びホームページで公表した。	◇経営状況を公開したか。	B	▽ホームページにおいて財務諸表を公開した。	A	B	自己評価のとおり															
③ カルテ等医療情報の開示は、山形県情報公開条例及び山形県個人情報保護条例に基づき、県の機関に準じて適切に対応する。	③ インフォームド・コンセントを徹底するほか、カルテ等医療情報の情報開示については、山形県情報公開条例及び個人情報保護条例の適用のもとに、県の機関に準じて行った。 【実績】 診療情報提供申出件数 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本海総合病院</td> <td>70件</td> <td>84件</td> <td>74件</td> <td>80件</td> </tr> <tr> <td>酒田医療センター</td> <td>2件</td> <td>2件</td> <td>3件</td> <td>2件</td> </tr> </tbody> </table>		H25	H26	H27	H28	日本海総合病院	70件	84件	74件	80件	酒田医療センター	2件	2件	3件	2件	◇情報開示請求に適切に対応したか。	B	▽県の機関に準じて、適切に対応した。	A	B	自己評価のとおり
	H25	H26	H27	H28																		
日本海総合病院	70件	84件	74件	80件																		
酒田医療センター	2件	2件	3件	2件																		
④ 適切な情報管理や情報セキュリティ対策の強化を図るため、職員及び「ちょうかいネット」の利用者等を対象に研修を行う。	④ 適切な情報管理や情報セキュリティ対策の強化を図るため、職員及び「ちょうかいネット」の利用者等を対象に次のとおり研修を行った。また、電子カルテのログオフの徹底および個人情報の取り扱い、罰則規定について全職員に周知した。 【実績】 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>実施年月日</th> <th>内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28.5 及び H28.11</td> <td>電子カルテへのアクセス監査を実施(強化月間)</td> </tr> <tr> <td>H28.8.23 及び H28.3.23</td> <td>ちょうかいネット研修参加の全5施設11名に対してセキュリティ研修会を実施した。</td> </tr> <tr> <td>H28.3</td> <td>「ちょうかいネット」全参加施設(100施設)に対してセキュリティに関するアンケート調査を実施すると共に適切な利用方法の解説を行った。</td> </tr> <tr> <td>H28.3~</td> <td>事務局の端末を仮想デスクトップ環境に変更し、事務局側の情報セキュリティを強化した。</td> </tr> </tbody> </table>	実施年月日	内 容	H28.5 及び H28.11	電子カルテへのアクセス監査を実施(強化月間)	H28.8.23 及び H28.3.23	ちょうかいネット研修参加の全5施設11名に対してセキュリティ研修会を実施した。	H28.3	「ちょうかいネット」全参加施設(100施設)に対してセキュリティに関するアンケート調査を実施すると共に適切な利用方法の解説を行った。	H28.3~	事務局の端末を仮想デスクトップ環境に変更し、事務局側の情報セキュリティを強化した。	◇職員及び「ちょうかいネット」利用者に研修を行ったか。	B	▽ちょうかいネット利用者を対象に、セキュリティに関するアンケート調査及び研修を実施し、適切な利用方法等の解説を行った。また、標的型攻撃メールへの取り扱いを周知徹底するなど、セキュリティ対策にも迅速に対応した。	B	B	自己評価のとおり					
実施年月日	内 容																					
H28.5 及び H28.11	電子カルテへのアクセス監査を実施(強化月間)																					
H28.8.23 及び H28.3.23	ちょうかいネット研修参加の全5施設11名に対してセキュリティ研修会を実施した。																					
H28.3	「ちょうかいネット」全参加施設(100施設)に対してセキュリティに関するアンケート調査を実施すると共に適切な利用方法の解説を行った。																					
H28.3~	事務局の端末を仮想デスクトップ環境に変更し、事務局側の情報セキュリティを強化した。																					

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 項目別評価シート

平成28年度・年度計画	平成28年度・年度実績	評価の視点	判定	自己評価	H27 判定	判定	委員会評価及び意見等																		
5 医療安全対策の充実・強化																									
① 住民に信頼される良質な医療を提供するため、公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価の受審を検討する。	① 住民に信頼される良質な医療を提供するため、公益財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価の訪問審査を10月26～27日に受審。	◇病院機能評価の受審を検討したか。	S	▽病院機能評価を受審し、平成29年2月3日に、主たる機能：一般病院2 機能種別版評価項目3rdG: Ver.1.1に認定された。(認定期間H29.2.3～H34.2.2)	—	S	自己評価のとおり																		
② 対策の充実・強化を図るため、全職員を対象に医療安全対策及び院内感染対策に関する研修を行うとともに、情報の収集及び分析に努める。	② 患者安全管理体制の推進・強化を図るため、医療安全対策委員会を中心に次のような活動を行った。 <table border="1" data-bbox="577 368 927 571"> <thead> <tr> <th>実施日等</th> <th>研修内容等</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28.8.10 日本神経学会 調査</td> <td>医療安全対策委員会 医学研究部 「医療安全の基本的考え方―転倒転落について―」 講師：パライマウントベッド(株)技術開発部 主幹研究員 元日本赤十字事業局医療事業部 医療安全課長 山田 良子氏</td> <td>243名</td> </tr> <tr> <td>H28.1.10 日本神経学会 調査</td> <td>医療安全対策委員会 医学研究部 「40歳以上高齢者認知症(2017-2019)の予防とケアマネジメント」 講師：東京海上日動メディカルサービス株式会社 医療本部第三医療本部 部長 山本 貴雄氏</td> <td>247名</td> </tr> </tbody> </table> <p>医療安全管理者を中心に、各部署の医療安全推進者(リスクマネージャー)と連携しながら、インシデントの事例共有、分析、改善策について検討し、医療安全対策の一層の向上に努めた。</p> <p>院内感染の防止を図るため、感染制御チーム及び院内感染対策委員会を中心に次のような活動を行った。</p> <table border="1" data-bbox="566 834 927 1054"> <thead> <tr> <th>実施日等</th> <th>研修内容等</th> <th>参加人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H28.9.1 日本神経学会 医療安全課・調査</td> <td>院内感染対策委員会 研修会 「ノロウイルスと対応と感染防止―感染管理の新しい方向―」 講師：ハクゾクメディカル株式会社 藤井 亮輔氏</td> <td>312名</td> </tr> <tr> <td>H28.8.24 日本神経学会 調査</td> <td>院内感染対策委員会 研修会 「高齢者と共生の未来―医療・福祉の連携と介護の連携を中心として―」 講師：山形大学医学部附属病院 感染制御部長 森崎 啓大 先生</td> <td>157名</td> </tr> </tbody> </table> <p>院内感染防止対策及び院内感染発生時の対応等における院内感染対策体制を確立し、適切かつ安全で質の高い医療サービスの提供を図ることに努めた。</p>	実施日等	研修内容等	参加人数	H28.8.10 日本神経学会 調査	医療安全対策委員会 医学研究部 「医療安全の基本的考え方―転倒転落について―」 講師：パライマウントベッド(株)技術開発部 主幹研究員 元日本赤十字事業局医療事業部 医療安全課長 山田 良子氏	243名	H28.1.10 日本神経学会 調査	医療安全対策委員会 医学研究部 「40歳以上高齢者認知症(2017-2019)の予防とケアマネジメント」 講師：東京海上日動メディカルサービス株式会社 医療本部第三医療本部 部長 山本 貴雄氏	247名	実施日等	研修内容等	参加人数	H28.9.1 日本神経学会 医療安全課・調査	院内感染対策委員会 研修会 「ノロウイルスと対応と感染防止―感染管理の新しい方向―」 講師：ハクゾクメディカル株式会社 藤井 亮輔氏	312名	H28.8.24 日本神経学会 調査	院内感染対策委員会 研修会 「高齢者と共生の未来―医療・福祉の連携と介護の連携を中心として―」 講師：山形大学医学部附属病院 感染制御部長 森崎 啓大 先生	157名	◇全職員対象の研修の実施と、情報収集等を行ったか。	B	▽全職員を対象に医療安全対策、院内感染対策の研修会をそれぞれ2回開催すると共に、医療安全管理者を中心に、情報収集と分析を行い、医療安全対策の一層の向上に努めた。	A	B	自己評価のとおり
実施日等	研修内容等	参加人数																							
H28.8.10 日本神経学会 調査	医療安全対策委員会 医学研究部 「医療安全の基本的考え方―転倒転落について―」 講師：パライマウントベッド(株)技術開発部 主幹研究員 元日本赤十字事業局医療事業部 医療安全課長 山田 良子氏	243名																							
H28.1.10 日本神経学会 調査	医療安全対策委員会 医学研究部 「40歳以上高齢者認知症(2017-2019)の予防とケアマネジメント」 講師：東京海上日動メディカルサービス株式会社 医療本部第三医療本部 部長 山本 貴雄氏	247名																							
実施日等	研修内容等	参加人数																							
H28.9.1 日本神経学会 医療安全課・調査	院内感染対策委員会 研修会 「ノロウイルスと対応と感染防止―感染管理の新しい方向―」 講師：ハクゾクメディカル株式会社 藤井 亮輔氏	312名																							
H28.8.24 日本神経学会 調査	院内感染対策委員会 研修会 「高齢者と共生の未来―医療・福祉の連携と介護の連携を中心として―」 講師：山形大学医学部附属病院 感染制御部長 森崎 啓大 先生	157名																							
③ 医療安全マニュアル及び感染対策マニュアル等は、必要に応じて速やかに改訂し、対策の徹底を図る。	③ 医療安全マニュアルについて、必要に応じた改訂を行い、院内感染対策マニュアルについても、速やかに改訂を行った。	◇マニュアル等を、必要に応じて速やかに改訂し、対策の徹底を図ったか。	B	▽マニュアルの改訂を速やかに行い、全職員に周知を図り対策を徹底した。 ・医療安全マニュアルの一部改定(H28.10) ・感染対策マニュアルの一部改定(H28.10、H29.3)	—	B	自己評価のとおり																		
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するため取るべき措置																									
1 組織マネジメントの強化																									
組織マネジメントの強化のため、運営委員会、診療部代表者会議、業務改善委員会、経営会議等の充実を図る。	運営委員会、診療部代表者会議、業務改善委員会、経営会議等を定期的に開催し、組織マネジメントの強化に努めた。	◇各委員会、会議の充実を図ったか。	B	▽運営委員会(毎週)、診療部代表者会議(毎月)、業務改善委員会(毎月)、経営会議(毎月)等を定期的に開催し、各会議内容の充実を図った。	—	B	自己評価のとおり																		

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 項目別評価シート

平成28年度・年度計画	平成28年度・年度実績	評価の視点	判定	自己評価	H27 判定	判定	委員会評価及び意見等																																																																																																																																																																															
2 診療体制の強化、人員配置の弾力的運用																																																																																																																																																																																						
① 医療需要の変化等に迅速かつ的確に対応するため、各病院間での人事交流等による協力体制のもと、業務量に応じて医療従事者の適切な配置を行う。	① 医療需要の変化等に迅速かつ的確に対応するため、定期及び臨時の人事異動により適材適所の配置に努めた。	◇医療従事者の適切な配置を行ったか。	A	▽医療需要の変化に対応するため、酒田医療センターに理学療法士、作業療法士各3名を増員し、休日を含めたりハビリテーション提供体制の充実を図った。また、定期及び臨時の人事異動により適切な配置を行った。	—	A	自己評価のとおり																																																																																																																																																																															
② 柔軟かつ多様な勤務形態等で、多様な専門的職種の利用を図り、効率的な業務運営に努める。	② PCPS(心臓の補助循環装置)使用患者発生時の対応を強化するため、臨床工学技士の宿日直勤務を導入し、効率的な業務運営に努めた。	◇効率的な業務運営に努めたか。	A	▽専門的職種の効率的な業務運営のため、平成28年9月から新たに臨床工学技士の宿日直勤務を導入した。	—	A	自己評価のとおり																																																																																																																																																																															
3 経営基盤の安定化																																																																																																																																																																																						
(1)収入の確保																																																																																																																																																																																						
① 1日あたりの患者数、病床利用率等の目標値を次のように定め、営業収益の確保に努める。なお、これらの目標値は、診療報酬改定前の予測に基づくものであり、初・再診時における選定療養費の徴収が、どのくらいの影響を及ぼすのか予測がつかないため、決算報告時に大きく差が生じる可能性がある。	① 平成28年度における患者数等は次のとおりであった。 【患者動向】	◇各目標値を達成できたか。	A	▽日本海総合病院では、1日あたりの入院患者数が目標値をわずかに下回ったが、他の目標値に関しては、すべて達成できた。 ▽酒田医療センターは、病床利用率が目標値をわずかに下回ったが、他の目標値はすべて達成できた。	—	A	自己評価のとおり																																																																																																																																																																															
<p>【1日あたりの患者数の目標値】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>入院</th> <th>外来</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本海総合病院</td> <td>518人/日以上</td> <td>1,300人/日以上</td> </tr> <tr> <td>酒田医療センター</td> <td>102人/日以上</td> <td>3人/日以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>【病床利用率及び平均在院日数の目標値】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>病床利用率</th> <th>平均在院日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本海総合病院</td> <td>80%以上</td> <td>12.0日以内</td> </tr> <tr> <td>酒田医療センター</td> <td>80%以上</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>【診療単価の目標値】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>入院</th> <th>外来</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本海総合病院</td> <td>82,000円/日以上</td> <td>13,000円/日以上</td> </tr> <tr> <td>酒田医療センター</td> <td>28,000円/日以上</td> <td>3,000円/日以上</td> </tr> </tbody> </table>		入院	外来	日本海総合病院	518人/日以上	1,300人/日以上	酒田医療センター	102人/日以上	3人/日以上		病床利用率	平均在院日数	日本海総合病院	80%以上	12.0日以内	酒田医療センター	80%以上	—		入院	外来	日本海総合病院	82,000円/日以上	13,000円/日以上	酒田医療センター	28,000円/日以上	3,000円/日以上	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="3">日本海総合病院</th> <th colspan="3">酒田医療センター</th> <th colspan="3">計</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>増減</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>増減</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>送入院患者数(人)</td> <td>199,450</td> <td>199,230</td> <td>△ 220</td> <td>35,455</td> <td>37,404</td> <td>1,910</td> <td>225,844</td> <td>225,634</td> <td>△ 210</td> </tr> <tr> <td>実入院患者数(人)</td> <td>16,252</td> <td>16,059</td> <td>△ 194</td> <td>573</td> <td>573</td> <td>0</td> <td>16,825</td> <td>16,632</td> <td>△ 193</td> </tr> <tr> <td>入院/1日(人)</td> <td>528.4</td> <td>515.7</td> <td>△ 4.7</td> <td>97.0</td> <td>102.5</td> <td>5.5</td> <td>617.4</td> <td>618.2</td> <td>0.8</td> </tr> <tr> <td>病床利用率(%)</td> <td>82.6</td> <td>81.9</td> <td>△ 0.7</td> <td>85.0</td> <td>89.3</td> <td>4.3</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>病床回転率(%)</td> <td>298.7</td> <td>280.0</td> <td>△ 0.7</td> <td>45.5</td> <td>46.5</td> <td>△ 3.0</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数(日)</td> <td>11.7</td> <td>11.7</td> <td>0.0</td> <td>61.6</td> <td>65.4</td> <td>3.8</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>送外未患者数(人)</td> <td>340,823</td> <td>335,440</td> <td>△ 5,375</td> <td>810</td> <td>813</td> <td>3</td> <td>341,633</td> <td>336,254</td> <td>△ 5,379</td> </tr> <tr> <td>新外来患者数(人)</td> <td>23,318</td> <td>23,539</td> <td>△ 2,700</td> <td>59</td> <td>63</td> <td>4</td> <td>23,377</td> <td>23,602</td> <td>△ 2,774</td> </tr> <tr> <td>外来/1日(人)</td> <td>1,402.6</td> <td>1,381.4</td> <td>△ 22.2</td> <td>3.3</td> <td>3.4</td> <td>0.1</td> <td>1,405.9</td> <td>1,384.8</td> <td>△ 21.1</td> </tr> <tr> <td>病床数</td> <td>630</td> <td>630</td> <td>0</td> <td>114</td> <td>114</td> <td>0</td> <td>744</td> <td>744</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>【患者1人1日あたりの診療単価(税抜)】 単位:円</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">日本海総合病院</th> <th colspan="3">酒田医療センター</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>増減</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院</td> <td>62,380</td> <td>63,328</td> <td>339</td> <td>入院</td> <td>26,555</td> <td>26,939</td> <td>378</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>14,713</td> <td>14,504</td> <td>△ 209</td> <td>外来</td> <td>3,574</td> <td>3,774</td> <td>200</td> </tr> </tbody> </table>	区分	日本海総合病院			酒田医療センター			計			H27	H28	増減	H27	H28	増減	H27	H28	増減	送入院患者数(人)	199,450	199,230	△ 220	35,455	37,404	1,910	225,844	225,634	△ 210	実入院患者数(人)	16,252	16,059	△ 194	573	573	0	16,825	16,632	△ 193	入院/1日(人)	528.4	515.7	△ 4.7	97.0	102.5	5.5	617.4	618.2	0.8	病床利用率(%)	82.6	81.9	△ 0.7	85.0	89.3	4.3	-	-	-	病床回転率(%)	298.7	280.0	△ 0.7	45.5	46.5	△ 3.0	-	-	-	平均在院日数(日)	11.7	11.7	0.0	61.6	65.4	3.8	-	-	-	送外未患者数(人)	340,823	335,440	△ 5,375	810	813	3	341,633	336,254	△ 5,379	新外来患者数(人)	23,318	23,539	△ 2,700	59	63	4	23,377	23,602	△ 2,774	外来/1日(人)	1,402.6	1,381.4	△ 22.2	3.3	3.4	0.1	1,405.9	1,384.8	△ 21.1	病床数	630	630	0	114	114	0	744	744	0		日本海総合病院			酒田医療センター			H27	H28	増減	H27	H28	増減	入院	62,380	63,328	339	入院	26,555	26,939	378	外来	14,713	14,504	△ 209	外来	3,574	3,774	200	<p>◇請求漏れや査定による減点等の防止を図ったか。</p> <p>◇施設基準の取得等により増収を図ったか。</p> <p>◇未収金が発生した場合早期回収に努めたか。</p>	<p>B</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>▽診療報酬点検委員会において、査定内容の全件チェックを行い、改善事項については院内周知を行い、再発防止に努めた。</p> <p>▽新たに総合入院体制加算2及び認知症ケア加算1の施設基準の届出を行い増収を図った。 <増収> 総合入院体制加算3→2 530万円/月 認知症ケア加算1 6万7千円/月</p> <p>▽新たに長期滞納者への対策として個人医療未収金回収業務を委託した。 ▽未収金徴収の専門職員を引き続き配置し、分納等による個人未収金の早期回収に努めた。</p>	<p>—</p> <p>—</p> <p>—</p>	<p>B</p> <p>A</p> <p>A</p>	<p>自己評価のとおり</p> <p>自己評価のとおり</p> <p>自己評価のとおり</p>
	入院	外来																																																																																																																																																																																				
日本海総合病院	518人/日以上	1,300人/日以上																																																																																																																																																																																				
酒田医療センター	102人/日以上	3人/日以上																																																																																																																																																																																				
	病床利用率	平均在院日数																																																																																																																																																																																				
日本海総合病院	80%以上	12.0日以内																																																																																																																																																																																				
酒田医療センター	80%以上	—																																																																																																																																																																																				
	入院	外来																																																																																																																																																																																				
日本海総合病院	82,000円/日以上	13,000円/日以上																																																																																																																																																																																				
酒田医療センター	28,000円/日以上	3,000円/日以上																																																																																																																																																																																				
区分	日本海総合病院			酒田医療センター			計																																																																																																																																																																															
	H27	H28	増減	H27	H28	増減	H27	H28	増減																																																																																																																																																																													
送入院患者数(人)	199,450	199,230	△ 220	35,455	37,404	1,910	225,844	225,634	△ 210																																																																																																																																																																													
実入院患者数(人)	16,252	16,059	△ 194	573	573	0	16,825	16,632	△ 193																																																																																																																																																																													
入院/1日(人)	528.4	515.7	△ 4.7	97.0	102.5	5.5	617.4	618.2	0.8																																																																																																																																																																													
病床利用率(%)	82.6	81.9	△ 0.7	85.0	89.3	4.3	-	-	-																																																																																																																																																																													
病床回転率(%)	298.7	280.0	△ 0.7	45.5	46.5	△ 3.0	-	-	-																																																																																																																																																																													
平均在院日数(日)	11.7	11.7	0.0	61.6	65.4	3.8	-	-	-																																																																																																																																																																													
送外未患者数(人)	340,823	335,440	△ 5,375	810	813	3	341,633	336,254	△ 5,379																																																																																																																																																																													
新外来患者数(人)	23,318	23,539	△ 2,700	59	63	4	23,377	23,602	△ 2,774																																																																																																																																																																													
外来/1日(人)	1,402.6	1,381.4	△ 22.2	3.3	3.4	0.1	1,405.9	1,384.8	△ 21.1																																																																																																																																																																													
病床数	630	630	0	114	114	0	744	744	0																																																																																																																																																																													
	日本海総合病院			酒田医療センター																																																																																																																																																																																		
	H27	H28	増減	H27	H28	増減																																																																																																																																																																																
入院	62,380	63,328	339	入院	26,555	26,939	378																																																																																																																																																																															
外来	14,713	14,504	△ 209	外来	3,574	3,774	200																																																																																																																																																																															
② 診療報酬請求のチェック体制を強化し、請求漏れや査定による減点等の防止を図る。	② 診療報酬点検委員会において対策を迅速に行い、改善事項については速やかに院内周知を行った。	◇請求漏れや査定による減点等の防止を図ったか。	B	▽診療報酬点検委員会において、査定内容の全件チェックを行い、改善事項については院内周知を行い、再発防止に努めた。	—	B	自己評価のとおり																																																																																																																																																																															
③ 診療報酬改定等をはじめ各種制度の変化に迅速に対応し、施設基準の取得等により増収を図る。	③ 診療報酬改定等を始め各種制度の変化に迅速に対応し、施設基準(総合入院体制加算2、認知症ケア加算1)の取得により増収を図った。	◇施設基準の取得等により増収を図ったか。	A	▽新たに総合入院体制加算2及び認知症ケア加算1の施設基準の届出を行い増収を図った。 <増収> 総合入院体制加算3→2 530万円/月 認知症ケア加算1 6万7千円/月	—	A	自己評価のとおり																																																																																																																																																																															
④ 各種公的制度の活用等により未収金の発生を防止するとともに、未収金が発生した場合は多様な方法により早期回収に努める。	④ 未収金の発生防止及び早期回収に努めるため、平成29年2月から、弁護士法人に個人医療未収金回収業務を委託した。	◇未収金が発生した場合早期回収に努めたか。	A	▽新たに長期滞納者への対策として個人医療未収金回収業務を委託した。 ▽未収金徴収の専門職員を引き続き配置し、分納等による個人未収金の早期回収に努めた。	—	A	自己評価のとおり																																																																																																																																																																															

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 項目別評価シート

平成28年度・年度計画	平成28年度・年度実績	評価の視点	判定	自己評価	H27 判定	委員会評価及び意見等																																																																																																																																																																																																																						
<p>(2)費用の抑制</p> <p>職員給与費比率、材料費比率等の目標値を次のように定め、費用の抑制に努める。また、後発医薬品の数量シェアについては、国の設定した目標値の達成に努める。</p> <p>【営業収益に占める主な費用の比率の目標値】</p> <table border="1" data-bbox="159 288 533 395"> <thead> <tr> <th></th> <th>職員給与費</th> <th>材料費</th> <th>うち薬品費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本海総合病院 (法人管理部を含む。)</td> <td>総務省が公表している「平成28年度地方公営企業決算状況調査」における全国500席以上の県立病院の平均値</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>酒田医療センター</td> <td>70%以内</td> <td>4%以内</td> <td>3%以内</td> </tr> </tbody> </table>		職員給与費	材料費	うち薬品費	日本海総合病院 (法人管理部を含む。)	総務省が公表している「平成28年度地方公営企業決算状況調査」における全国500席以上の県立病院の平均値			酒田医療センター	70%以内	4%以内	3%以内	<p>職員給与費比率、材料費比率等は次のとおりであった。</p> <p>【営業収益に占める主な費用の比率】</p> <table border="1" data-bbox="577 288 898 395"> <thead> <tr> <th></th> <th>職員給与費</th> <th>材料費</th> <th>うち薬品費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本海総合病院 (法人管理部を含む。)</td> <td>45.7%</td> <td>25.2%</td> <td>13.8%</td> </tr> <tr> <td>酒田医療センター</td> <td>70.7%</td> <td>2.4%</td> <td>1.5%</td> </tr> </tbody> </table>		職員給与費	材料費	うち薬品費	日本海総合病院 (法人管理部を含む。)	45.7%	25.2%	13.8%	酒田医療センター	70.7%	2.4%	1.5%	<p>◇費用の抑制に努め、また、後発医薬品の数量シェアを国の設定した目標値の達成に努めたか。</p>	<p>A</p>	<p>▽日本海総合病院は、薬品費比率が13.9%でわずかに目標を達成できなかったが、職員給与費率は45.7%、材料費比率25.8%で目標を達成した。 <目標値> 職員給与費率 47.2% 材料比率 26.3% うち薬品費 13.2%</p> <p>▽酒田医療センターは職員給与費率が70.7%で、わずかに目標を達成できなかったが、材料費比率は2.4%、薬品費比率は1.5%で目標を達成した。</p>	<p>S</p>	<p>A</p> <p>自己評価のとおり</p>																																																																																																																																																																																														
	職員給与費	材料費	うち薬品費																																																																																																																																																																																																																									
日本海総合病院 (法人管理部を含む。)	総務省が公表している「平成28年度地方公営企業決算状況調査」における全国500席以上の県立病院の平均値																																																																																																																																																																																																																											
酒田医療センター	70%以内	4%以内	3%以内																																																																																																																																																																																																																									
	職員給与費	材料費	うち薬品費																																																																																																																																																																																																																									
日本海総合病院 (法人管理部を含む。)	45.7%	25.2%	13.8%																																																																																																																																																																																																																									
酒田医療センター	70.7%	2.4%	1.5%																																																																																																																																																																																																																									
<p>第3 予算(人件費の見積りを含む。)、収支計画及び資金計画</p> <p>【営業収支比率及び経常収支比率の目標値】</p> <table border="1" data-bbox="159 651 495 786"> <thead> <tr> <th></th> <th>営業収支比率</th> <th>経常収支比率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本海総合病院 (法人管理部を含む。)</td> <td>100%以上</td> <td>100%以上</td> </tr> <tr> <td>酒田医療センター</td> <td>80%以上</td> <td>80%以上</td> </tr> <tr> <td>病院機構全体</td> <td>100%以上</td> <td>100%以上</td> </tr> </tbody> </table>		営業収支比率	経常収支比率	日本海総合病院 (法人管理部を含む。)	100%以上	100%以上	酒田医療センター	80%以上	80%以上	病院機構全体	100%以上	100%以上	<p>収支の実績</p> <p>収支は次のとおりであった。</p> <p>【営業収支比率及び経常収支比率】</p> <table border="1" data-bbox="562 659 920 786"> <thead> <tr> <th></th> <th>営業収支比率</th> <th>経常収支比率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本海総合病院 (法人管理部を含む。)</td> <td>103.9%</td> <td>103.8%</td> </tr> <tr> <td>酒田医療センター</td> <td>87.5%</td> <td>93.7%</td> </tr> <tr> <td>病院機構全体</td> <td>102.8%</td> <td>103.1%</td> </tr> </tbody> </table>		営業収支比率	経常収支比率	日本海総合病院 (法人管理部を含む。)	103.9%	103.8%	酒田医療センター	87.5%	93.7%	病院機構全体	102.8%	103.1%		<p>A</p>	<p>▽日本海総合病院、酒田医療センター共に、営業収支比率、経常収支比率の目標を達成し、法人全体で総収益200億3百万円に対し総費用194億17百万円で、過去最高益であった昨年度より減少はしたものの、当期純利益5億87百万円を確保した。</p>	<p>S</p>	<p>A</p> <p>自己評価のとおり</p>																																																																																																																																																																																														
	営業収支比率	経常収支比率																																																																																																																																																																																																																										
日本海総合病院 (法人管理部を含む。)	100%以上	100%以上																																																																																																																																																																																																																										
酒田医療センター	80%以上	80%以上																																																																																																																																																																																																																										
病院機構全体	100%以上	100%以上																																																																																																																																																																																																																										
	営業収支比率	経常収支比率																																																																																																																																																																																																																										
日本海総合病院 (法人管理部を含む。)	103.9%	103.8%																																																																																																																																																																																																																										
酒田医療センター	87.5%	93.7%																																																																																																																																																																																																																										
病院機構全体	102.8%	103.1%																																																																																																																																																																																																																										
<p>1 予算(平成28年度)</p> <p>(単位:百万円)</p> <table border="1" data-bbox="159 898 510 1377"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>日本海総合病院</th> <th>酒田医療センター</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td>20,537</td> <td>1,235</td> <td>21,772</td> </tr> <tr> <td>営業収益</td> <td>17,783</td> <td>1,055</td> <td>18,838</td> </tr> <tr> <td>運賃賃料収入</td> <td>17,182</td> <td>1,040</td> <td>18,222</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>581</td> <td>15</td> <td>596</td> </tr> <tr> <td>運賃賃料収入等</td> <td>280</td> <td>104</td> <td>1,024</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>788</td> <td>95</td> <td>893</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>122</td> <td>9</td> <td>131</td> </tr> <tr> <td>臨時利益</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>資本収入</td> <td>1,254</td> <td>75</td> <td>1,329</td> </tr> <tr> <td>運営費負担金</td> <td>1,178</td> <td>83</td> <td>1,261</td> </tr> <tr> <td>長期借入金</td> <td>878</td> <td>7</td> <td>885</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>18,885</td> <td>1,235</td> <td>20,120</td> </tr> <tr> <td>営業費用</td> <td>16,778</td> <td>1,102</td> <td>17,880</td> </tr> <tr> <td>営業費用</td> <td>16,801</td> <td>1,102</td> <td>17,903</td> </tr> <tr> <td>給与費</td> <td>8,434</td> <td>757</td> <td>9,191</td> </tr> <tr> <td>材料費</td> <td>5,301</td> <td>32</td> <td>5,433</td> </tr> <tr> <td>経費</td> <td>2,888</td> <td>305</td> <td>3,193</td> </tr> <tr> <td>研究開発費</td> <td>83</td> <td>5</td> <td>88</td> </tr> <tr> <td>一般管理費</td> <td>127</td> <td>-</td> <td>127</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>313</td> <td>15</td> <td>328</td> </tr> <tr> <td>臨時損失</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>資本支出</td> <td>2,794</td> <td>118</td> <td>2,912</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>305</td> <td>11</td> <td>316</td> </tr> <tr> <td>長期借入金返済金</td> <td>1,980</td> <td>107</td> <td>2,087</td> </tr> <tr> <td>運営費負担金</td> <td>9</td> <td>-</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	区分	日本海総合病院	酒田医療センター	合計	収入	20,537	1,235	21,772	営業収益	17,783	1,055	18,838	運賃賃料収入	17,182	1,040	18,222	営業外収益	581	15	596	運賃賃料収入等	280	104	1,024	その他	788	95	893	その他	122	9	131	臨時利益	0	1	1	資本収入	1,254	75	1,329	運営費負担金	1,178	83	1,261	長期借入金	878	7	885	支出	18,885	1,235	20,120	営業費用	16,778	1,102	17,880	営業費用	16,801	1,102	17,903	給与費	8,434	757	9,191	材料費	5,301	32	5,433	経費	2,888	305	3,193	研究開発費	83	5	88	一般管理費	127	-	127	営業外費用	313	15	328	臨時損失	0	0	0	資本支出	2,794	118	2,912	建設費	305	11	316	長期借入金返済金	1,980	107	2,087	運営費負担金	9	-	9	その他	0	0	0	<p>1 予算及び決算</p> <p>(単位:百万円)</p> <table border="1" data-bbox="577 890 920 1090"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>予算額 (指 定)</th> <th>決算額</th> <th>差額 (決算-予算)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td>21,772</td> <td>22,030</td> <td>258</td> </tr> <tr> <td>営業収益</td> <td>18,818</td> <td>18,978</td> <td>160</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>19,222</td> <td>18,401</td> <td>-179</td> </tr> <tr> <td>運賃賃料収入</td> <td>596</td> <td>577</td> <td>-19</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>1,024</td> <td>1,036</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>運賃賃料収入等</td> <td>849</td> <td>837</td> <td>-12</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>131</td> <td>199</td> <td>68</td> </tr> <tr> <td>資本収入</td> <td>1,328</td> <td>2,011</td> <td>683</td> </tr> <tr> <td>運営費負担金の収入</td> <td>1,244</td> <td>1,244</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>長期借入金</td> <td>885</td> <td>767</td> <td>-118</td> </tr> <tr> <td>その他の収入</td> <td>1</td> <td>5</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="577 1106 920 1353"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>予算額 (指 定)</th> <th>決算額</th> <th>差額 (決算-予算)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支出</td> <td>20,120</td> <td>20,798</td> <td>678</td> </tr> <tr> <td>営業費用</td> <td>17,880</td> <td>17,998</td> <td>118</td> </tr> <tr> <td>営業費用</td> <td>17,709</td> <td>17,726</td> <td>17</td> </tr> <tr> <td>給与費</td> <td>9,191</td> <td>9,232</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>材料費</td> <td>5,423</td> <td>5,084</td> <td>-339</td> </tr> <tr> <td>経費</td> <td>2,998</td> <td>2,877</td> <td>-121</td> </tr> <tr> <td>研究開発費</td> <td>88</td> <td>83</td> <td>-5</td> </tr> <tr> <td>一般管理費</td> <td>127</td> <td>170</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>328</td> <td>321</td> <td>-7</td> </tr> <tr> <td>資本支出</td> <td>2,812</td> <td>3,018</td> <td>206</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>316</td> <td>324</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>長期借入金返済金</td> <td>2,087</td> <td>2,086</td> <td>-1</td> </tr> <tr> <td>運営費負担金</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他の支出</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>※掲前頁に記載処理をしているため、合計額が一致しない場合があります。</p>	区分	予算額 (指 定)	決算額	差額 (決算-予算)	収入	21,772	22,030	258	営業収益	18,818	18,978	160	営業外収益	19,222	18,401	-179	運賃賃料収入	596	577	-19	営業外収益	1,024	1,036	12	運賃賃料収入等	849	837	-12	その他	131	199	68	資本収入	1,328	2,011	683	運営費負担金の収入	1,244	1,244	0	長期借入金	885	767	-118	その他の収入	1	5	4	区分	予算額 (指 定)	決算額	差額 (決算-予算)	支出	20,120	20,798	678	営業費用	17,880	17,998	118	営業費用	17,709	17,726	17	給与費	9,191	9,232	41	材料費	5,423	5,084	-339	経費	2,998	2,877	-121	研究開発費	88	83	-5	一般管理費	127	170	43	営業外費用	328	321	-7	資本支出	2,812	3,018	206	建設費	316	324	8	長期借入金返済金	2,087	2,086	-1	運営費負担金	9	9	0	その他の支出	0	1	1		<p>S</p>	<p>A</p> <p>自己評価のとおり</p>
区分	日本海総合病院	酒田医療センター	合計																																																																																																																																																																																																																									
収入	20,537	1,235	21,772																																																																																																																																																																																																																									
営業収益	17,783	1,055	18,838																																																																																																																																																																																																																									
運賃賃料収入	17,182	1,040	18,222																																																																																																																																																																																																																									
営業外収益	581	15	596																																																																																																																																																																																																																									
運賃賃料収入等	280	104	1,024																																																																																																																																																																																																																									
その他	788	95	893																																																																																																																																																																																																																									
その他	122	9	131																																																																																																																																																																																																																									
臨時利益	0	1	1																																																																																																																																																																																																																									
資本収入	1,254	75	1,329																																																																																																																																																																																																																									
運営費負担金	1,178	83	1,261																																																																																																																																																																																																																									
長期借入金	878	7	885																																																																																																																																																																																																																									
支出	18,885	1,235	20,120																																																																																																																																																																																																																									
営業費用	16,778	1,102	17,880																																																																																																																																																																																																																									
営業費用	16,801	1,102	17,903																																																																																																																																																																																																																									
給与費	8,434	757	9,191																																																																																																																																																																																																																									
材料費	5,301	32	5,433																																																																																																																																																																																																																									
経費	2,888	305	3,193																																																																																																																																																																																																																									
研究開発費	83	5	88																																																																																																																																																																																																																									
一般管理費	127	-	127																																																																																																																																																																																																																									
営業外費用	313	15	328																																																																																																																																																																																																																									
臨時損失	0	0	0																																																																																																																																																																																																																									
資本支出	2,794	118	2,912																																																																																																																																																																																																																									
建設費	305	11	316																																																																																																																																																																																																																									
長期借入金返済金	1,980	107	2,087																																																																																																																																																																																																																									
運営費負担金	9	-	9																																																																																																																																																																																																																									
その他	0	0	0																																																																																																																																																																																																																									
区分	予算額 (指 定)	決算額	差額 (決算-予算)																																																																																																																																																																																																																									
収入	21,772	22,030	258																																																																																																																																																																																																																									
営業収益	18,818	18,978	160																																																																																																																																																																																																																									
営業外収益	19,222	18,401	-179																																																																																																																																																																																																																									
運賃賃料収入	596	577	-19																																																																																																																																																																																																																									
営業外収益	1,024	1,036	12																																																																																																																																																																																																																									
運賃賃料収入等	849	837	-12																																																																																																																																																																																																																									
その他	131	199	68																																																																																																																																																																																																																									
資本収入	1,328	2,011	683																																																																																																																																																																																																																									
運営費負担金の収入	1,244	1,244	0																																																																																																																																																																																																																									
長期借入金	885	767	-118																																																																																																																																																																																																																									
その他の収入	1	5	4																																																																																																																																																																																																																									
区分	予算額 (指 定)	決算額	差額 (決算-予算)																																																																																																																																																																																																																									
支出	20,120	20,798	678																																																																																																																																																																																																																									
営業費用	17,880	17,998	118																																																																																																																																																																																																																									
営業費用	17,709	17,726	17																																																																																																																																																																																																																									
給与費	9,191	9,232	41																																																																																																																																																																																																																									
材料費	5,423	5,084	-339																																																																																																																																																																																																																									
経費	2,998	2,877	-121																																																																																																																																																																																																																									
研究開発費	88	83	-5																																																																																																																																																																																																																									
一般管理費	127	170	43																																																																																																																																																																																																																									
営業外費用	328	321	-7																																																																																																																																																																																																																									
資本支出	2,812	3,018	206																																																																																																																																																																																																																									
建設費	316	324	8																																																																																																																																																																																																																									
長期借入金返済金	2,087	2,086	-1																																																																																																																																																																																																																									
運営費負担金	9	9	0																																																																																																																																																																																																																									
その他の支出	0	1	1																																																																																																																																																																																																																									

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 項目別評価シート

平成28年度・年度計画	平成28年度・年度実績	評価の視点	判定		H27 判定	委員会評価及び意見等																																																																																																																																																																																																						
			自己判定	判定																																																																																																																																																																																																								
<p>【人件費の見積り】</p> <p>総額9,256百万円を支出する。なお、当該金額は、法人の役員に係る報酬、基本給、諸手当、法定福利費及び退職手当の額に相当するものである。</p> <p>2 収支計画(平成28年度)</p> <p>(単位:百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>日本郵政前 年度</th> <th>酒田医療七ヶ ヶ</th> <th>合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>取 入</td> <td>18,852</td> <td>1,180</td> <td>19,812</td> </tr> <tr> <td>営業収益</td> <td>17,758</td> <td>1,055</td> <td>18,703</td> </tr> <tr> <td> 医療収益</td> <td>17,152</td> <td>1,038</td> <td>18,191</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>501</td> <td>15</td> <td>506</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金等戻入</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>914</td> <td>104</td> <td>1,018</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>728</td> <td>95</td> <td>823</td> </tr> <tr> <td> その他営業収益</td> <td>116</td> <td>9</td> <td>125</td> </tr> <tr> <td>雑利雑益</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>支 出</td> <td>18,483</td> <td>1,257</td> <td>19,740</td> </tr> <tr> <td>営業費用</td> <td>17,545</td> <td>1,218</td> <td>18,763</td> </tr> <tr> <td> 医療費用</td> <td>17,380</td> <td>1,218</td> <td>18,598</td> </tr> <tr> <td> 一般管理費</td> <td>165</td> <td>-</td> <td>165</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>883</td> <td>38</td> <td>921</td> </tr> <tr> <td>雑利雑失</td> <td>10</td> <td>1</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>純 利 益</td> <td>184</td> <td>△ 97</td> <td>87</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	日本郵政前 年度	酒田医療七ヶ ヶ	合 計	取 入	18,852	1,180	19,812	営業収益	17,758	1,055	18,703	医療収益	17,152	1,038	18,191	運営費負担金収益	501	15	506	運営費負担金等戻入	5	1	6	営業外収益	914	104	1,018	運営費負担金収益	728	95	823	その他営業収益	116	9	125	雑利雑益	0	1	1	支 出	18,483	1,257	19,740	営業費用	17,545	1,218	18,763	医療費用	17,380	1,218	18,598	一般管理費	165	-	165	営業外費用	883	38	921	雑利雑失	10	1	11	純 利 益	184	△ 97	87	<p>2 収支</p> <p>(単位:百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>予算額 (当初)</th> <th>決算額 (決算 - 予算)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>取 入</td> <td>19,812</td> <td>20,003</td> </tr> <tr> <td>営業収益</td> <td>18,793</td> <td>18,956</td> </tr> <tr> <td> 医療収益</td> <td>18,191</td> <td>18,370</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>506</td> <td>577</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金等戻入</td> <td>6</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>営業外収益</td> <td>1,018</td> <td>1,026</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金収益</td> <td>823</td> <td>827</td> </tr> <tr> <td> その他医療収益</td> <td>125</td> <td>188</td> </tr> <tr> <td>その他の収入</td> <td>1</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>支 出</td> <td>19,740</td> <td>19,416</td> </tr> <tr> <td>営業費用</td> <td>18,763</td> <td>18,432</td> </tr> <tr> <td> 医療費用</td> <td>18,598</td> <td>18,274</td> </tr> <tr> <td> 一般管理費</td> <td>165</td> <td>158</td> </tr> <tr> <td>営業外費用</td> <td>921</td> <td>942</td> </tr> <tr> <td>その他の費用</td> <td>11</td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>純 利 益</td> <td>67</td> <td>587</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	予算額 (当初)	決算額 (決算 - 予算)	取 入	19,812	20,003	営業収益	18,793	18,956	医療収益	18,191	18,370	運営費負担金収益	506	577	運営費負担金等戻入	6	9	営業外収益	1,018	1,026	運営費負担金収益	823	827	その他医療収益	125	188	その他の収入	1	21	支 出	19,740	19,416	営業費用	18,763	18,432	医療費用	18,598	18,274	一般管理費	165	158	営業外費用	921	942	その他の費用	11	42	純 利 益	67	587																																																																																				
区 分	日本郵政前 年度	酒田医療七ヶ ヶ	合 計																																																																																																																																																																																																									
取 入	18,852	1,180	19,812																																																																																																																																																																																																									
営業収益	17,758	1,055	18,703																																																																																																																																																																																																									
医療収益	17,152	1,038	18,191																																																																																																																																																																																																									
運営費負担金収益	501	15	506																																																																																																																																																																																																									
運営費負担金等戻入	5	1	6																																																																																																																																																																																																									
営業外収益	914	104	1,018																																																																																																																																																																																																									
運営費負担金収益	728	95	823																																																																																																																																																																																																									
その他営業収益	116	9	125																																																																																																																																																																																																									
雑利雑益	0	1	1																																																																																																																																																																																																									
支 出	18,483	1,257	19,740																																																																																																																																																																																																									
営業費用	17,545	1,218	18,763																																																																																																																																																																																																									
医療費用	17,380	1,218	18,598																																																																																																																																																																																																									
一般管理費	165	-	165																																																																																																																																																																																																									
営業外費用	883	38	921																																																																																																																																																																																																									
雑利雑失	10	1	11																																																																																																																																																																																																									
純 利 益	184	△ 97	87																																																																																																																																																																																																									
区 分	予算額 (当初)	決算額 (決算 - 予算)																																																																																																																																																																																																										
取 入	19,812	20,003																																																																																																																																																																																																										
営業収益	18,793	18,956																																																																																																																																																																																																										
医療収益	18,191	18,370																																																																																																																																																																																																										
運営費負担金収益	506	577																																																																																																																																																																																																										
運営費負担金等戻入	6	9																																																																																																																																																																																																										
営業外収益	1,018	1,026																																																																																																																																																																																																										
運営費負担金収益	823	827																																																																																																																																																																																																										
その他医療収益	125	188																																																																																																																																																																																																										
その他の収入	1	21																																																																																																																																																																																																										
支 出	19,740	19,416																																																																																																																																																																																																										
営業費用	18,763	18,432																																																																																																																																																																																																										
医療費用	18,598	18,274																																																																																																																																																																																																										
一般管理費	165	158																																																																																																																																																																																																										
営業外費用	921	942																																																																																																																																																																																																										
その他の費用	11	42																																																																																																																																																																																																										
純 利 益	67	587																																																																																																																																																																																																										
<p>3 資金計画(平成28年度)</p> <p>(単位:百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>日本郵政前 年度</th> <th>酒田医療七ヶ ヶ</th> <th>合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>資金収入</td> <td>20,055</td> <td>2,525</td> <td>22,580</td> </tr> <tr> <td> 業務活動による収入</td> <td>18,715</td> <td>1,180</td> <td>19,895</td> </tr> <tr> <td> 財務活動による収入</td> <td>17,182</td> <td>1,040</td> <td>18,222</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金による収入</td> <td>1,379</td> <td>110</td> <td>1,489</td> </tr> <tr> <td> 補助金等収入</td> <td>32</td> <td>0</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td> その他の業務活動による収入</td> <td>172</td> <td>10</td> <td>182</td> </tr> <tr> <td> 投資活動による収入</td> <td>6,000</td> <td>1,000</td> <td>7,000</td> </tr> <tr> <td> 有価証券の売却による収入</td> <td>5,000</td> <td>1,000</td> <td>6,000</td> </tr> <tr> <td> 固定資産の売却による収入</td> <td>1,000</td> <td>0</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td>財務活動による収入</td> <td>1,264</td> <td>75</td> <td>1,339</td> </tr> <tr> <td> 長期借入による収入</td> <td>678</td> <td>7</td> <td>685</td> </tr> <tr> <td> 金融出資の購入による収入</td> <td>1,170</td> <td>65</td> <td>1,234</td> </tr> <tr> <td>前年度からの繰越金</td> <td>3,488</td> <td>300</td> <td>3,788</td> </tr> <tr> <td>資金支出</td> <td>25,325</td> <td>2,235</td> <td>27,560</td> </tr> <tr> <td> 業務活動による支出</td> <td>17,081</td> <td>1,117</td> <td>18,208</td> </tr> <tr> <td> 人件費支出</td> <td>8,489</td> <td>757</td> <td>9,246</td> </tr> <tr> <td> 材料費支出</td> <td>5,381</td> <td>32</td> <td>5,413</td> </tr> <tr> <td> その他の業務活動による支出</td> <td>3,201</td> <td>328</td> <td>3,529</td> </tr> <tr> <td> 投資活動による支出</td> <td>6,314</td> <td>1,011</td> <td>7,325</td> </tr> <tr> <td> 有形固定資産の取得による支出</td> <td>305</td> <td>11</td> <td>316</td> </tr> <tr> <td> 有形固定資産の取得による支出</td> <td>5,000</td> <td>1,000</td> <td>6,000</td> </tr> <tr> <td> 定期預金の購入による支出</td> <td>1,000</td> <td>0</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td> 貸付金の貸付による支出</td> <td>9</td> <td>-</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>財務活動による支出</td> <td>1,880</td> <td>107</td> <td>2,087</td> </tr> <tr> <td> 長期借入の返済による支出</td> <td>838</td> <td>22</td> <td>860</td> </tr> <tr> <td> 移行期地方債償還債務等の 償還による支出</td> <td>1,142</td> <td>85</td> <td>1,227</td> </tr> <tr> <td>前年度への繰越金</td> <td>4,170</td> <td>300</td> <td>4,470</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	日本郵政前 年度	酒田医療七ヶ ヶ	合 計	資金収入	20,055	2,525	22,580	業務活動による収入	18,715	1,180	19,895	財務活動による収入	17,182	1,040	18,222	運営費負担金による収入	1,379	110	1,489	補助金等収入	32	0	32	その他の業務活動による収入	172	10	182	投資活動による収入	6,000	1,000	7,000	有価証券の売却による収入	5,000	1,000	6,000	固定資産の売却による収入	1,000	0	1,000	財務活動による収入	1,264	75	1,339	長期借入による収入	678	7	685	金融出資の購入による収入	1,170	65	1,234	前年度からの繰越金	3,488	300	3,788	資金支出	25,325	2,235	27,560	業務活動による支出	17,081	1,117	18,208	人件費支出	8,489	757	9,246	材料費支出	5,381	32	5,413	その他の業務活動による支出	3,201	328	3,529	投資活動による支出	6,314	1,011	7,325	有形固定資産の取得による支出	305	11	316	有形固定資産の取得による支出	5,000	1,000	6,000	定期預金の購入による支出	1,000	0	1,000	貸付金の貸付による支出	9	-	9	財務活動による支出	1,880	107	2,087	長期借入の返済による支出	838	22	860	移行期地方債償還債務等の 償還による支出	1,142	85	1,227	前年度への繰越金	4,170	300	4,470	<p>(単位:百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>予算額 (当初)</th> <th>決算額 (決算 - 予算)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>資金収入</td> <td>22,580</td> <td>24,232</td> </tr> <tr> <td>業務活動による収入</td> <td>19,875</td> <td>20,078</td> </tr> <tr> <td> 業務活動による収入</td> <td>18,222</td> <td>18,440</td> </tr> <tr> <td> 運営費負担金による収入</td> <td>1,489</td> <td>1,414</td> </tr> <tr> <td> 補助金等収入</td> <td>32</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td> その他の業務活動による収入</td> <td>132</td> <td>130</td> </tr> <tr> <td>投資活動による収入</td> <td>7,000</td> <td>6,000</td> </tr> <tr> <td> 有価証券の売却による収入</td> <td>6,000</td> <td>7,000</td> </tr> <tr> <td> 定期預金の売却による収入</td> <td>1,000</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td>財務活動による収入</td> <td>1,339</td> <td>2,010</td> </tr> <tr> <td> 長期借入による収入</td> <td>685</td> <td>787</td> </tr> <tr> <td> 金融出資の購入による収入</td> <td>1,244</td> <td>1,243</td> </tr> <tr> <td>前年度からの繰越金</td> <td>3,788</td> <td>4,277</td> </tr> <tr> <td>資金支出</td> <td>27,120</td> <td>26,488</td> </tr> <tr> <td>業務活動による支出</td> <td>18,208</td> <td>18,075</td> </tr> <tr> <td> 給与費支出</td> <td>9,246</td> <td>9,316</td> </tr> <tr> <td> 材料費支出</td> <td>5,422</td> <td>4,385</td> </tr> <tr> <td> その他の業務活動による支出</td> <td>3,529</td> <td>3,774</td> </tr> <tr> <td>投資活動による支出</td> <td>7,325</td> <td>10,327</td> </tr> <tr> <td> 有形固定資産の取得による支出</td> <td>316</td> <td>814</td> </tr> <tr> <td> 有形固定資産の取得による支出</td> <td>0</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td> 定期預金の取得による支出</td> <td>6,000</td> <td>9,500</td> </tr> <tr> <td> 定期預金の購入による支出</td> <td>1,000</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td> その他の投資活動による支出</td> <td>9</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>財務活動による支出</td> <td>2,087</td> <td>2,086</td> </tr> <tr> <td> 長期借入の返済による支出</td> <td>860</td> <td>855</td> </tr> <tr> <td> 移行期地方債償還債務等の 償還による支出</td> <td>1,227</td> <td>1,227</td> </tr> <tr> <td>前年度への繰越金</td> <td>4,470</td> <td>3,824</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	予算額 (当初)	決算額 (決算 - 予算)	資金収入	22,580	24,232	業務活動による収入	19,875	20,078	業務活動による収入	18,222	18,440	運営費負担金による収入	1,489	1,414	補助金等収入	32	47	その他の業務活動による収入	132	130	投資活動による収入	7,000	6,000	有価証券の売却による収入	6,000	7,000	定期預金の売却による収入	1,000	1,000	財務活動による収入	1,339	2,010	長期借入による収入	685	787	金融出資の購入による収入	1,244	1,243	前年度からの繰越金	3,788	4,277	資金支出	27,120	26,488	業務活動による支出	18,208	18,075	給与費支出	9,246	9,316	材料費支出	5,422	4,385	その他の業務活動による支出	3,529	3,774	投資活動による支出	7,325	10,327	有形固定資産の取得による支出	316	814	有形固定資産の取得による支出	0	4	定期預金の取得による支出	6,000	9,500	定期預金の購入による支出	1,000	0	その他の投資活動による支出	9	9	財務活動による支出	2,087	2,086	長期借入の返済による支出	860	855	移行期地方債償還債務等の 償還による支出	1,227	1,227	前年度への繰越金	4,470	3,824				
区 分	日本郵政前 年度	酒田医療七ヶ ヶ	合 計																																																																																																																																																																																																									
資金収入	20,055	2,525	22,580																																																																																																																																																																																																									
業務活動による収入	18,715	1,180	19,895																																																																																																																																																																																																									
財務活動による収入	17,182	1,040	18,222																																																																																																																																																																																																									
運営費負担金による収入	1,379	110	1,489																																																																																																																																																																																																									
補助金等収入	32	0	32																																																																																																																																																																																																									
その他の業務活動による収入	172	10	182																																																																																																																																																																																																									
投資活動による収入	6,000	1,000	7,000																																																																																																																																																																																																									
有価証券の売却による収入	5,000	1,000	6,000																																																																																																																																																																																																									
固定資産の売却による収入	1,000	0	1,000																																																																																																																																																																																																									
財務活動による収入	1,264	75	1,339																																																																																																																																																																																																									
長期借入による収入	678	7	685																																																																																																																																																																																																									
金融出資の購入による収入	1,170	65	1,234																																																																																																																																																																																																									
前年度からの繰越金	3,488	300	3,788																																																																																																																																																																																																									
資金支出	25,325	2,235	27,560																																																																																																																																																																																																									
業務活動による支出	17,081	1,117	18,208																																																																																																																																																																																																									
人件費支出	8,489	757	9,246																																																																																																																																																																																																									
材料費支出	5,381	32	5,413																																																																																																																																																																																																									
その他の業務活動による支出	3,201	328	3,529																																																																																																																																																																																																									
投資活動による支出	6,314	1,011	7,325																																																																																																																																																																																																									
有形固定資産の取得による支出	305	11	316																																																																																																																																																																																																									
有形固定資産の取得による支出	5,000	1,000	6,000																																																																																																																																																																																																									
定期預金の購入による支出	1,000	0	1,000																																																																																																																																																																																																									
貸付金の貸付による支出	9	-	9																																																																																																																																																																																																									
財務活動による支出	1,880	107	2,087																																																																																																																																																																																																									
長期借入の返済による支出	838	22	860																																																																																																																																																																																																									
移行期地方債償還債務等の 償還による支出	1,142	85	1,227																																																																																																																																																																																																									
前年度への繰越金	4,170	300	4,470																																																																																																																																																																																																									
区 分	予算額 (当初)	決算額 (決算 - 予算)																																																																																																																																																																																																										
資金収入	22,580	24,232																																																																																																																																																																																																										
業務活動による収入	19,875	20,078																																																																																																																																																																																																										
業務活動による収入	18,222	18,440																																																																																																																																																																																																										
運営費負担金による収入	1,489	1,414																																																																																																																																																																																																										
補助金等収入	32	47																																																																																																																																																																																																										
その他の業務活動による収入	132	130																																																																																																																																																																																																										
投資活動による収入	7,000	6,000																																																																																																																																																																																																										
有価証券の売却による収入	6,000	7,000																																																																																																																																																																																																										
定期預金の売却による収入	1,000	1,000																																																																																																																																																																																																										
財務活動による収入	1,339	2,010																																																																																																																																																																																																										
長期借入による収入	685	787																																																																																																																																																																																																										
金融出資の購入による収入	1,244	1,243																																																																																																																																																																																																										
前年度からの繰越金	3,788	4,277																																																																																																																																																																																																										
資金支出	27,120	26,488																																																																																																																																																																																																										
業務活動による支出	18,208	18,075																																																																																																																																																																																																										
給与費支出	9,246	9,316																																																																																																																																																																																																										
材料費支出	5,422	4,385																																																																																																																																																																																																										
その他の業務活動による支出	3,529	3,774																																																																																																																																																																																																										
投資活動による支出	7,325	10,327																																																																																																																																																																																																										
有形固定資産の取得による支出	316	814																																																																																																																																																																																																										
有形固定資産の取得による支出	0	4																																																																																																																																																																																																										
定期預金の取得による支出	6,000	9,500																																																																																																																																																																																																										
定期預金の購入による支出	1,000	0																																																																																																																																																																																																										
その他の投資活動による支出	9	9																																																																																																																																																																																																										
財務活動による支出	2,087	2,086																																																																																																																																																																																																										
長期借入の返済による支出	860	855																																																																																																																																																																																																										
移行期地方債償還債務等の 償還による支出	1,227	1,227																																																																																																																																																																																																										
前年度への繰越金	4,470	3,824																																																																																																																																																																																																										

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 項目別評価シート

平成28年度・年度計画	平成28年度・年度実績	評価の視点	判定	自己評価	H27判定	判定	委員会評価及び意見等																			
第4 短期借入金の限度額																										
1 限度額 4,000百万円	短期借入金の実績なし	◇短期借入金の額はどのくらいか。	B	▽短期借入金なし	—	S	短期借入金なしで経営していることは高く評価できる。																			
2 想定される短期借入金の発生理由 賞与の支給等による一時的な資金不足への対応																										
第5 剰余金の使途																										
決算において剰余が生じた場合は、病院施設の整備・修繕、医療機器の購入等に充てる。	H28の決算剰余金については、建設改良積立金に充当し将来の施設整備及び医療機器の整備に備えた。	◇剰余金は病院施設の整備等に充てたか。	B	▽病院施設の整備に充てるため建設改良積立金に充当した。	—	S	9期連続で純利益を上げ、その積立金を施設整備や医療機器購入等に充てていることは高く評価できる。																			
第6 料金に関する事項																										
1 使用料及び手数料																										
① 病院を利用する者からは、使用料を徴収する。	地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構使用料及び手数料規程に基づき使用料を徴収を行った。	◇使用料を適切に徴収したか。	B	▽当法人の規程に基づき適切に使用料を徴収した。	—	B	自己評価のとおり																			
② 料金の額は、診療報酬の算定方法(平成20年厚生労働省告示第59号)、入院時食事療養費に係る食事療養及び入院時生活療養費に係る生活療養の費用の額の算定に関する基準(平成18年厚生労働省告示第99号)、後期高齢者医療の食事療養標準負担額及び生活療養標準負担額(平成19年厚生労働省告示第395号)の規定により算定した額(以下「告示等による算定額」という。)並びに指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(平成12年厚生省告示第19号)、指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(平成12年厚生省告示第20号)、厚生労働大臣が定める一単位の単価(平成27年厚生労働省告示第93号)及び指定介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(平成18年厚生労働省告示第127号)の規定により算定した額とする。	料金の額は、計画に記載の基準等の規定により算定した額とした。																									
③ 前項の規定にない使用料及び手数料の額は、次に定めるところによる。 ・山形労働局、地方公務員災害補償基金山形県支部その他の団体等との間における診療契約によるものについては、その契約の定める額とする。 ・前号以外にあっては、理事長が別に定める額とする。	計画に記載の契約等による額とした。																									
2 使用料及び手数料の減免																										
理事長が、特別の事情があると認めるときは、使用料及び手数料の全部又は一部を減免することができるものとする。	該当者なし	◇規定に基づき適正に処理したか。	B	▽該当なし	—	B	自己評価のとおり																			
第7 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項																										
1 人事に関する事項																										
① 今後の医療需要の変化や医療政策の動向等を踏まえ、戦略的に医療従事者の確保・育成に努める。	① 医療需要に対応するため、3回の職員採用試験を実施し、医療従事者の確保・育成に努めた。	◇戦略的に医療従事者の確保・育成に努めたか。	B	▽職員募集活動として、看護師及び薬剤師等のサマーセミナー、病院説明会等を行った。(参加者合計128名)また、看護師採用学校訪問(23回)や医療技術者採用学校説明会(6回)を行い医療従事者の確保に努めた。 ▽受検者 看護師 55名(合格者 40名) 医療技術者 52名(合格者 20名)	—	B	自己評価のとおり																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>平成29年4月採用人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護師</td> <td>35名</td> </tr> <tr> <td>薬剤師</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>臨床検査技師</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>診療放射線技師</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>理学療法士</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>作業療法士</td> <td>5名</td> </tr> <tr> <td>言語聴覚士</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>社会福祉士</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>55名</td> </tr> </tbody> </table>	職種	平成29年4月採用人数	看護師	35名	薬剤師	2名	臨床検査技師	2名	診療放射線技師	2名	理学療法士	4名	作業療法士	5名	言語聴覚士	1名	社会福祉士	1名	計	55名					
職種	平成29年4月採用人数																									
看護師	35名																									
薬剤師	2名																									
臨床検査技師	2名																									
診療放射線技師	2名																									
理学療法士	4名																									
作業療法士	5名																									
言語聴覚士	1名																									
社会福祉士	1名																									
計	55名																									

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 項目別評価シート

平成28年度・年度計画	平成28年度・年度実績	評価の視点	自己評価		H27 判定	委員会評価及び意見等																																							
			判定			判定																																							
② 能力や経験等を適切に評価し、特に優れた職員を積極的に昇任させるなど、モチベーションの向上を図るとともに、将来の病院運営を担う人材を育成する。	② 認定看護師や専門薬剤師等に対する手当支給や、学会参加費及び海外論文翻訳費等の助成を行うことにより、モチベーションの向上を図るとともに、認定看護師資格の新規取得者4名、更新者5名など、将来の病院運営を担う人材を育成した。	◇ 職員のモチベーションの向上を図るとともに、病院運営を担う人材を育成したか。	A	▽ 認定看護師等の手当支給や学会参加費助成の充実を図り、モチベーションの向上を図った。 ▽ 新規の認定看護師資格取得者は4名となった。また更新者も5名となり人材の育成が推進された。	—	A	自己評価のとおり																																						
2 職員の就労環境の整備に関する事項																																													
① 職員一人ひとりが、それぞれの分野で専門知識や能力を十分に発揮できるよう、多職種によるチーム医療を推進する。	① 職員一人ひとりが、それぞれの分野で専門知識や能力を十分に発揮できるよう、多職種によるチーム医療を推進するため、新たに「認知症ケアチーム」を発足させ活動を開始した。	◇ 多職種によるチーム医療を推進したか。	A	▽ 医師、看護師、薬剤師、リハビリ技師等による認知症ケアチームを、平成28年9月に新たに発足させ、チームによる回診や、カンファレンス等の活動を行った。	—	A	自己評価のとおり																																						
② 職員の心理的負担を把握するため、必要に応じ面接指導を行うなど、メンタルヘルス対策の充実を図る。	② メンタルヘルス対策として、職員の心理的負担を把握するストレスチェック後の面接指導を実施した。(面接実施人数：日本海5名、センター3名)	◇ メンタルヘルス対策の充実を図ったか。	B	▽ 新たに全職員を対象としてストレスチェックを実施すると共にストレスチェック後の面接指導等、メンタルヘルス対策の充実を図った。	—	B	自己評価のとおり																																						
③ 不適切な言動、行為等に起因する、職員の精神的・身体的損害及び生産性の低下を防止するため、ハラスメントの相談窓口の充実を図る。	③ 不適切な言動、行為等に起因する、職員の精神的・身体的損害及び生産性の低下を防止するため、パワーハラスメントに関する規程を新たに整備した。	◇ ハラスメントの相談窓口の充実を図ったか。	A	▽ 新たにパワーハラスメントに関する規程を整備するなど、ハラスメントの相談窓口の充実を図った。	—	A	自己評価のとおり																																						
④ 院内保育所の24時間対応や病児・病後児保育を継続するなど、職員が業務に専念できるよう就労環境の向上に努める。	④ 「あきほ保育園」では、年末・年始(12月29日から1月3日まで)を除き、24時間保育を実施した。また、病児・病後児保育事業を引き続き酒田市から受託し、当該事業を活用し職員の就労環境の向上に努めた。 【実績】 院内保育所「あきほ保育園」利用者数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者実数</td> <td>33名</td> <td>38名</td> <td>32名</td> <td>28名</td> </tr> </tbody> </table> 【実績】 院内保育所「あきほ保育園」終夜保育利用者数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用延べ人数</td> <td>57名</td> <td>99名</td> <td>27名</td> <td>4名</td> </tr> </tbody> </table> 【実績】 病児・病後児保育事業延べ利用者数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延べ利用者数</td> <td>304名</td> <td>233名</td> <td>281名</td> <td>292名</td> <td>248名</td> </tr> <tr> <td>(うち職員利用者数)</td> <td>(28名)</td> <td>(104名)</td> <td>(105名)</td> <td>(86名)</td> <td>(80名)</td> </tr> </tbody> </table>		H25	H26	H27	H28	利用者実数	33名	38名	32名	28名		H25	H26	H27	H28	利用延べ人数	57名	99名	27名	4名		H24	H25	H26	H27	H28	延べ利用者数	304名	233名	281名	292名	248名	(うち職員利用者数)	(28名)	(104名)	(105名)	(86名)	(80名)	◇ 24時間保育の実施など、職員の就労環境の向上に努めたか。	B	▽ 年末・年始(12/29～1/3)の休所日を除き、24時間保育を実施し、職員の就労環境の向上に努めた。	A	B	自己評価のとおり
	H25	H26	H27	H28																																									
利用者実数	33名	38名	32名	28名																																									
	H25	H26	H27	H28																																									
利用延べ人数	57名	99名	27名	4名																																									
	H24	H25	H26	H27	H28																																								
延べ利用者数	304名	233名	281名	292名	248名																																								
(うち職員利用者数)	(28名)	(104名)	(105名)	(86名)	(80名)																																								
3 医療機器・施設整備に関する事項 (日本海総合病院)																																													
① 費用対効果、地域の医療需要、他の機関との機能分担、医療技術の進展などを総合的に判断して整備する。	① 高度医療機器については、装置の稼働率、設置に対する採算性、収支の予測を十分に行い更新及び整備した。	◇ 医療技術の進展などを総合的に判断して整備したか。	B	▽ CT装置を、アーチファクトの低減などにより診断精度の向上が図られる最新の256列の装置に更新した。	A	B	自己評価のとおり																																						
② 平成26年度に実施した建物診断の結果に基づき、老朽化が著しく、緊急度が高い設備等を優先して、計画的に修繕を行う。	② 建物診断の結果に基づき策定した中長期修繕計画に従い、緊急度が高い設備2件の修繕工事を以下のとおり行った。 【実績】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事名</th> <th>執行額</th> <th>概要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>空調機ユニット換気工事</td> <td>81,380,000</td> <td>利用年数の経過と風害により劣化している手術室・解剖室・中央食器の空調機と換気機器等の結露チャンパーをO×O高圧ガスケットを更新した。</td> </tr> <tr> <td>車庫内及び駐車庫更新工事</td> <td>31,316,000</td> <td>利用年数の経過によりメーカーからの部品供給が終了した車庫内及び駐車庫の電動機等の部品を更新した。</td> </tr> </tbody> </table>	工事名	執行額	概要	空調機ユニット換気工事	81,380,000	利用年数の経過と風害により劣化している手術室・解剖室・中央食器の空調機と換気機器等の結露チャンパーをO×O高圧ガスケットを更新した。	車庫内及び駐車庫更新工事	31,316,000	利用年数の経過によりメーカーからの部品供給が終了した車庫内及び駐車庫の電動機等の部品を更新した。	◇ 建物総合診断を踏まえ、計画的に修繕を行ったか。	B	▽ 建物総合診断を踏まえ、計画的に修繕を実施した。	A	B	自己評価のとおり																													
工事名	執行額	概要																																											
空調機ユニット換気工事	81,380,000	利用年数の経過と風害により劣化している手術室・解剖室・中央食器の空調機と換気機器等の結露チャンパーをO×O高圧ガスケットを更新した。																																											
車庫内及び駐車庫更新工事	31,316,000	利用年数の経過によりメーカーからの部品供給が終了した車庫内及び駐車庫の電動機等の部品を更新した。																																											

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 項目別評価シート

平成28年度・年度計画	平成28年度・年度実績	評価の視点	自己評価		H27 判定	委員会評価及び意見等																																													
			判定	自己評価		判定	委員会評価及び意見等																																												
<p>③ 高額な医療機器等の更新及び整備については、償還等の負担を十分に考慮し、中長期的な投資計画(整備計画)のもとに行う。</p> <p>《医療機器・施設整備の計画》 (単位:百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>予定額</th> <th>財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>資本支出</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>施設改良費</td> <td>815</td> <td>設立団体からの</td> </tr> <tr> <td>施設整備</td> <td>66</td> <td>長期借入金等</td> </tr> <tr> <td>医療機器等</td> <td>750</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	予定額	財源	資本支出			施設改良費	815	設立団体からの	施設整備	66	長期借入金等	医療機器等	750		<p>③ 高額な医療機器等の更新及び整備については、償還等の負担を十分に考慮し、中長期的な投資計画(整備計画)のもとに行った。</p> <p>《医療機器・施設整備の計画》 (単位:百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>予定額</th> <th>財源</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>資本支出</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>施設改良費</td> <td>924</td> <td>設立団体からの</td> </tr> <tr> <td>施設整備</td> <td>89</td> <td>長期借入金等</td> </tr> <tr> <td>医療機器等</td> <td>835</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	区分	予定額	財源	資本支出			施設改良費	924	設立団体からの	施設整備	89	長期借入金等	医療機器等	835		<p>◇中長期的な投資計画(整備計画)のもとに行ったか。</p>	B	▽起債に係る償還等の負担を十分に考慮し、中長期的な投資計画(整備計画)のもとに更新を行った。	—	B	自己評価のとおり														
区分	予定額	財源																																																	
資本支出																																																			
施設改良費	815	設立団体からの																																																	
施設整備	66	長期借入金等																																																	
医療機器等	750																																																		
区分	予定額	財源																																																	
資本支出																																																			
施設改良費	924	設立団体からの																																																	
施設整備	89	長期借入金等																																																	
医療機器等	835																																																		
<p>4 積立金の使途</p> <p>前期中期目標期間の繰越積立金は、施設の整備、医療機器の購入等に充てる。</p>	<p>施設の整備、医療機器の購入等に充てるための計画を立てた。</p>	<p>◇施設の整備、医療機器の購入等に充てたか。</p>	B	▽施設の整備、医療機器の購入等に充てることとした。	—	B	自己評価のとおり																																												
<p>5 その他法人の業務運営に関する事項</p> <p>① 日本海総合病院は、酒田市、公益財団法人やまがた健康推進機構及び診療所等との連携、機能分担のもと、がん検診をはじめ地域の検診体制の充実を図る。</p>	<p>① 日本海総合病院は、酒田市、公益財団法人やまがた健康推進機構及び診療所等との連携、機能分担のもと、がん検診をはじめ地域の検診体制の充実を図った。日本海総合病院では、酒田市が実施した「内視鏡ドック」のうち、次の項目を継続して担った。</p> <p>【実績】内視鏡ドック件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H24</th> <th>H25</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>上部内視鏡</td> <td>138件</td> <td>143件</td> <td>142件</td> <td>122件</td> <td>107件</td> </tr> <tr> <td>下部内視鏡</td> <td>138件</td> <td>143件</td> <td>142件</td> <td>121件</td> <td>105件</td> </tr> <tr> <td>胸部CT</td> <td>139件</td> <td>143件</td> <td>142件</td> <td>123件</td> <td>107件</td> </tr> <tr> <td>PET/CT</td> <td>—</td> <td>105件</td> <td>48件</td> <td>52件</td> <td>38件</td> </tr> </tbody> </table> <p>酒田地区医師会及び公益財団法人やまがた健康推進機構と役割分担を行いながら、連携して地域住民の検診を行った。 日本海総合病院は、酒田市へのふるさと納税の特典として、納税額に応じた3種類の人間ドックを実施した。</p> <p>【実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">内容</th> <th colspan="2">利用者数</th> </tr> <tr> <th>H27</th> <th>H28</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>10万円コース PET/CT(半日)</td> <td>10名</td> <td>10名</td> </tr> <tr> <td>35万円コース 1泊2日(ドック)</td> <td>0名</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>50万円コース 2泊3日(ドック+PET/CT)</td> <td>2名</td> <td>2名</td> </tr> </tbody> </table>		H24	H25	H26	H27	H28	上部内視鏡	138件	143件	142件	122件	107件	下部内視鏡	138件	143件	142件	121件	105件	胸部CT	139件	143件	142件	123件	107件	PET/CT	—	105件	48件	52件	38件	内容	利用者数		H27	H28	10万円コース PET/CT(半日)	10名	10名	35万円コース 1泊2日(ドック)	0名	2名	50万円コース 2泊3日(ドック+PET/CT)	2名	2名	<p>◇公益財団法人やまがた健康推進機構等と連携し、検診体制の充実を図ったか。</p>	B	<p>▽酒田地区医師会及び公益財団法人やまがた健康推進機構との役割分担を行い、日本海総合病院では、主に乳がん検診、子宮がん検診、酒田市の内視鏡ドック及び二次検診を実施した。</p> <p>▽ふるさと納税の特典としての検診を昨年度に引き続き実施した。</p>	B	B	自己評価のとおり
	H24	H25	H26	H27	H28																																														
上部内視鏡	138件	143件	142件	122件	107件																																														
下部内視鏡	138件	143件	142件	121件	105件																																														
胸部CT	139件	143件	142件	123件	107件																																														
PET/CT	—	105件	48件	52件	38件																																														
内容	利用者数																																																		
	H27	H28																																																	
10万円コース PET/CT(半日)	10名	10名																																																	
35万円コース 1泊2日(ドック)	0名	2名																																																	
50万円コース 2泊3日(ドック+PET/CT)	2名	2名																																																	
<p>② 病児・病後児保育については、「庄内北部定住自立圏形成協定」により、酒田市以外に在住の乳幼児等も受け入れる。</p>	<p>② 病児・病後児保育事業を酒田市から受託し、「庄内北部定住自立圏形成協定」に則って酒田市以外に在住の乳幼児等も受け入れる体制を整えた。</p>	<p>◇病児・病後児事業を受託し、酒田市以外の乳幼児の受け入れを行ったか。</p>	B	<p>▽日曜日、祝日、年末年始休業(12/29~1/3)を除き、通年で事業を継続して実施すると共に、初めて酒田市以外の乳幼児も2名受け入れた。</p>	A	B	自己評価のとおり																																												

地方独立行政法人山形県・酒田市病院機構 年度別実績評価状況一覧表

判定基準	第1期中期目標期間											
	平成20年度			平成21年度			平成22年度			平成23年度		
	自己判定	判定	比率	自己判定	判定	比率	自己判定	判定	比率	自己判定	判定	比率
S	0	0	0%	0	0	0%	0	2	4.4%	7	7	13.5%
A	15	15	35.7%	20	20	42.6%	23	24	53.3%	44	44	84.6%
B	24	24	57.1%	25	26	55.3%	22	19	42.2%	1	1	1.9%
C	3	3	7.1%	2	1	2.1%	0	0	0%	0	0	0%
D	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%
項目数合計	42			47			45			52		

判定基準	第2期中期目標期間											
	平成24年度			平成25年度			平成26年度			平成27年度		
	自己判定	判定	比率	自己判定	判定	比率	自己判定	判定	比率	自己判定	判定	比率
S	9	11	15.5%	15	15	18.8%	17	16	18.8%	12	13	15.5%
A	55	56	78.9%	61	62	77.5%	63	66	77.6%	70	69	82.1%
B	7	4	5.6%	4	3	3.8%	5	2	2.4%	2	2	2.4%
C	0	0	0%	0	0	0%	0	1	1.2%	0	0	0%
D	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%	0	0	0%
項目数合計	71			80			85			84		

判定基準	第3期中期目標期間											
	平成28年度			平成29年度			平成30年度			平成31年度		
	自己判定	判定	比率	自己判定	判定	比率	自己判定	判定	比率	自己判定	判定	比率
S	7	9	9.6%			0.0%			0.0%			0.0%
A	32	35	37.2%			0.0%			0.0%			0.0%
B	55	50	53.2%			0.0%			0.0%			0.0%
C	0	0	0.0%			0%			0.0%			0.0%
D	0	0	0.0%			0%			0%			0%
項目数合計	94			0			0			0		